

# CARTA

HOLDINGS

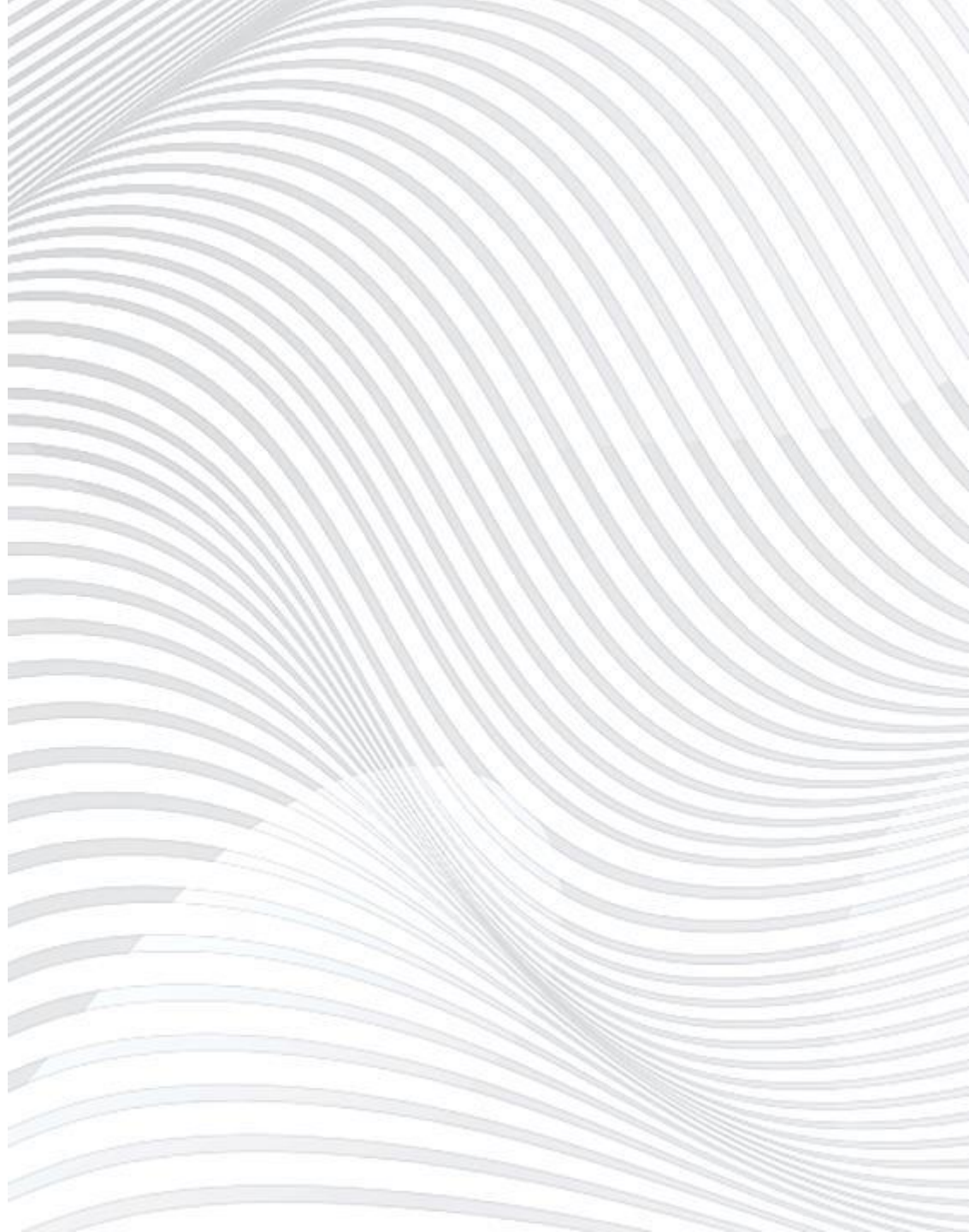
NEW JOURNEY, NEW STANDARD

——— 2019年12月期 ———

**第2四半期 決算説明資料**

2019年5月15日

東証一部：3688



# AGENDA

**P.02** 会社概要

**P.08** 会計上の留意事項

**P.14** 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要

**P.20** 連結業績予想と進捗

**P.24** 主要事業の概況

**P.46** 参考資料



# 03 経営統合について

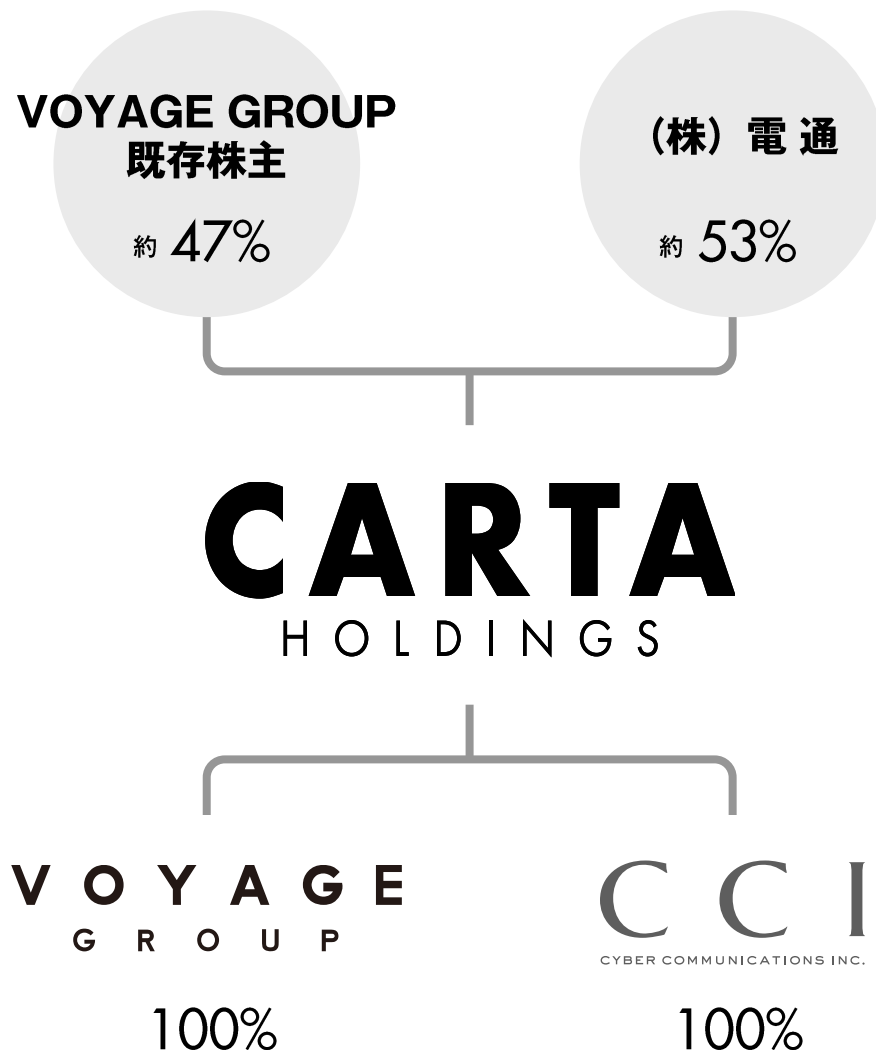
CARTA HOLDINGSは、  
2019年1月に東証一部上場企業である  
VOYAGE GROUPと  
電通100%子会社の  
サイバー・コミュニケーションズ (CCI) が  
経営統合してできた持株会社です。

## [ VOYAGE GROUP ]

アドプラットフォーム事業を中心に幅広く事業展開。  
テクノロジーや事業開発力が強み。

## [ CCI ]

デジタル広告のメディアレップ事業を中心に事業展開。  
強い顧客基盤が特徴。

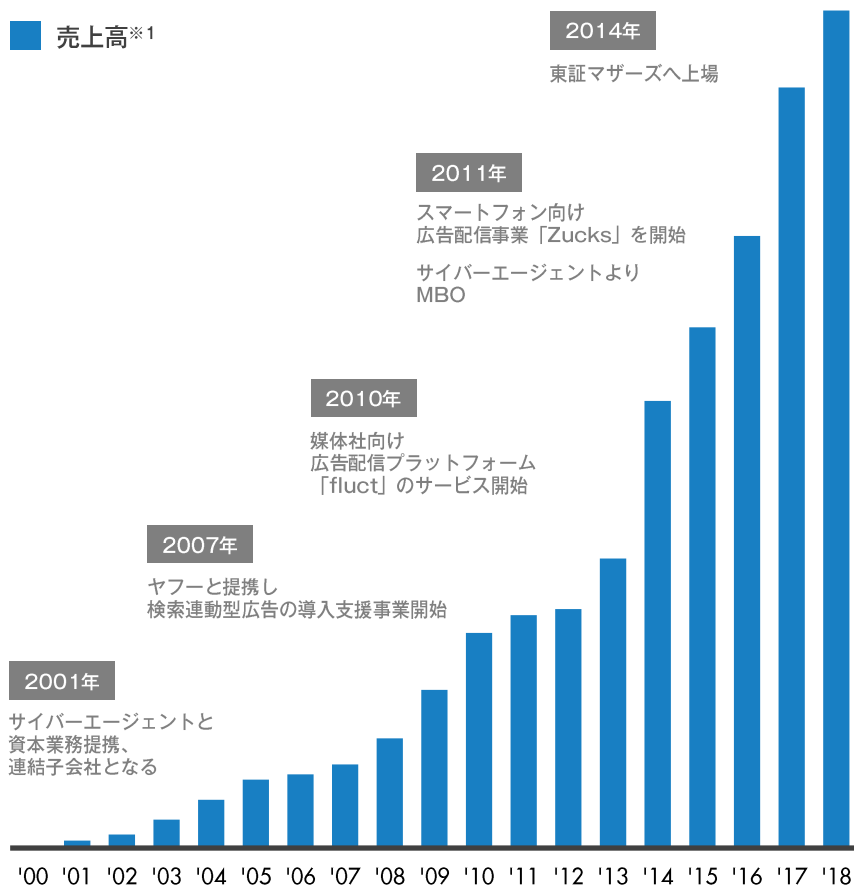


# 04 事業成長の歴史

VOYAGE GROUP

様々なインターネット関連事業を展開  
2012年以降はアドテクノロジー事業が大きく成長

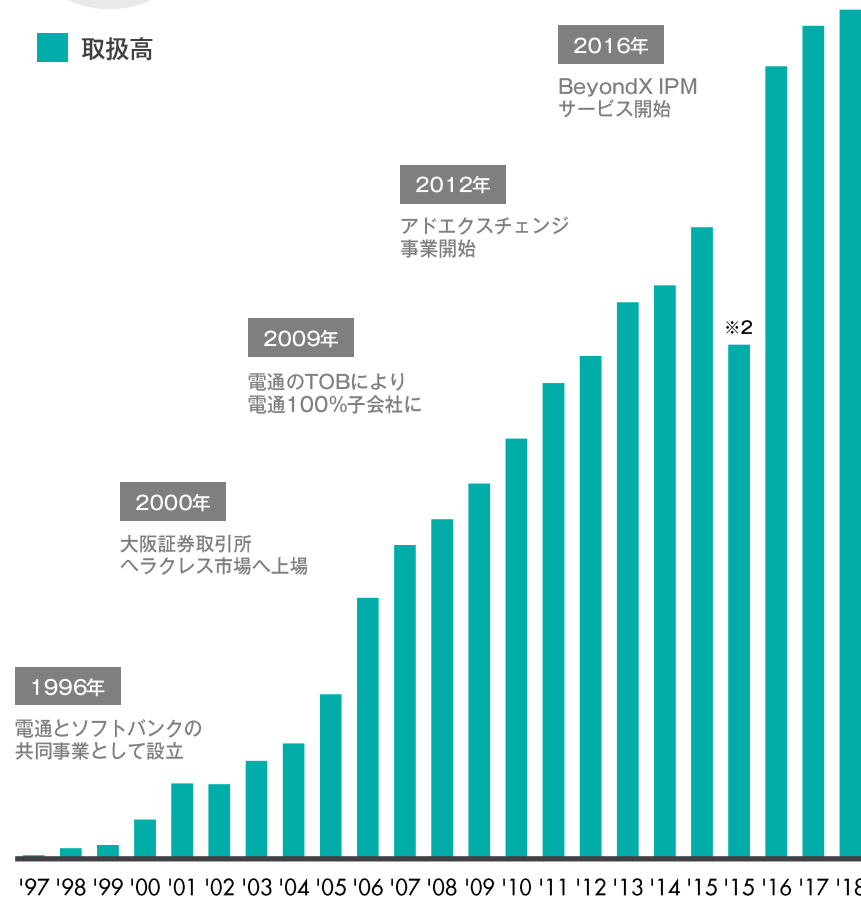
売上高※1



CCI  
CYBER COMMUNICATIONS INC.

メディアレップとしてヤフーなどの  
予約型広告の販売を中心に事業成長を実現

取扱高



※1 新収益認識基準(詳細は11ページを参照)を適用する前の gross 計上ベースの売上高  
 ※2 CCIの2015年12月期は3月期から12月期への決算期変更に伴う9ヶ月間の変則決算

# ネット広告市場において 業界をリードする圧倒的な存在に

インター  
ネット



広告



**CARTA**  
HOLDINGS

インターネット業界から見える広告の世界、広告業界から見えるインターネットの世界、  
CARTA HOLDINGSだからこそ両方からアプローチができる。

まずは、ネット広告市場において業界をリードする圧倒的な存在に。

もちろんその周辺領域においてもチャンスは逃さずに。

「3つの強み」をベースに  
様々な事業やサービスを展開

## 強い顧客基盤

- 国内外の大手WEB・アプリメディア / 広告会社
- のべ、1,000万会員以上を抱える自社メディアなど

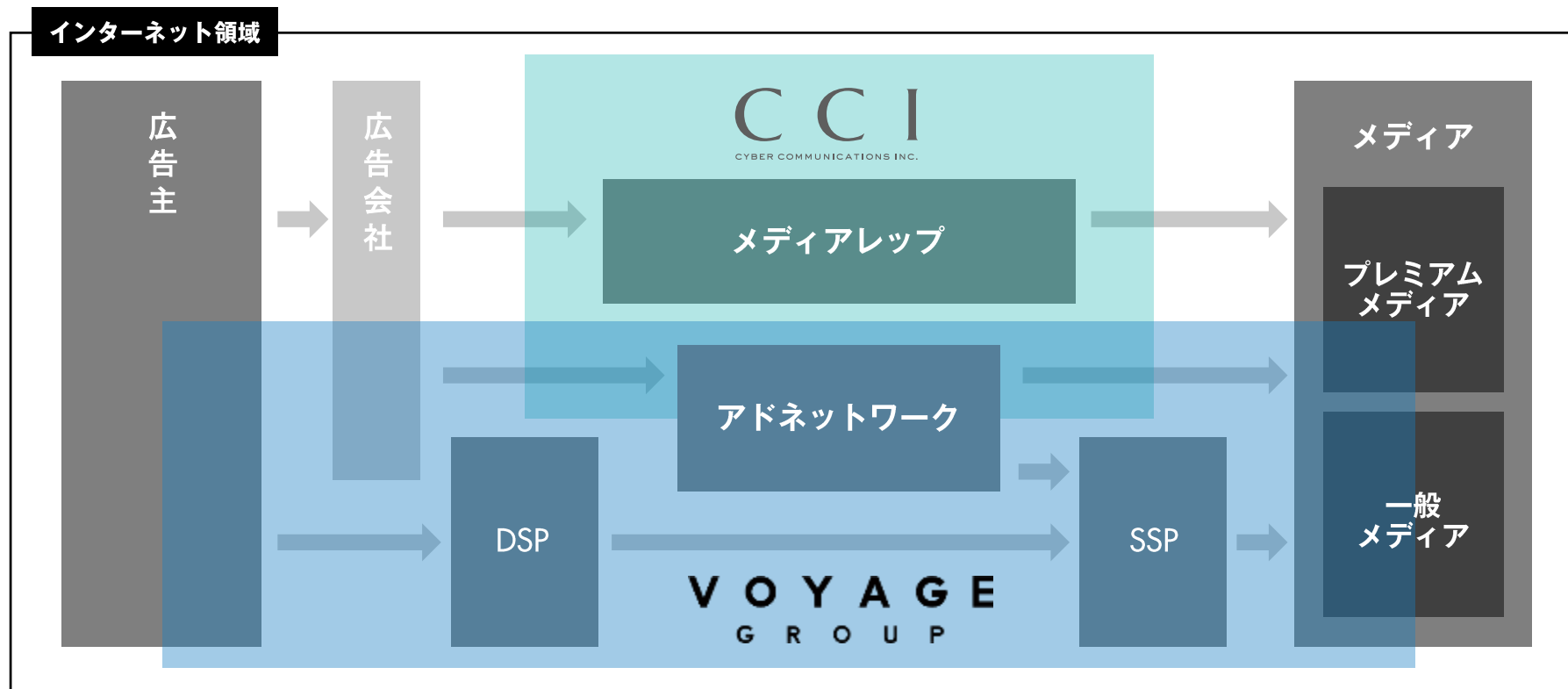
## テクノロジー

- 数百億imp/月の広告を安定的に配信する技術基盤
- 日々蓄積されるビッグデータをAI（人工知能）を活用して分析など

## 事業開発力

- ものづくり志向で創業以来100以上の事業 / サービスをつくってきた実績
- 事業 / サービスのエグゼキューション
- グループ内に150人以上の優秀なエンジニア / デザイナーなど

インターネット広告領域において川上から川下まで幅広く展開  
 デジタル化が今後急速に進んでいくテレビ広告やDOOH※などにも事業領域を広げていく



将来的にテレビ広告やDOOH領域へ事業領域を拡大

※ DOOHとはDigital Out Of Homeの頭文字をとったものであり屋外デジタル広告を指す。



# AGENDA

P.02 会社概要

P.08 会計上の留意事項

P.14 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要

P.20 連結業績予想と進捗

P.24 主要事業の概況

P.46 参考資料





# 09 ① 決算期変更に伴う15ヶ月変則決算

12月期への決算期変更の経過措置として2019年度は15ヶ月間の変則決算となる

	2018年 7~9月	10~12月	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
9月決算 (変更前)	2018年 9月期	2019年9月期				2020年 9月期
12月決算 (変更後)	2018年 9月期	2019年12月期 (15ヶ月決算)				

# 10 ②事業セグメントの見直し

## 第2四半期決算より事業セグメントを下記の通りに見直し

	事業内容	事業セグメント (経営統合前)	事業セグメント (経営統合後)
CCI	メディアレップ、 人材派遣・業務委託など	—	パートナーセールス事業
	Beyond X、PMPなど	—	アドプラットフォーム事業
VOYAGE GROUP	Zucks、fluct、CMerTVなど	アドプラットフォーム事業	コンシューマー事業
	ECナビ、PeX、 リサーチパネル	ポイントメディア事業	
	EC、FinTech、HRなど	インキュベーション事業	
	VOYAGE VENTURESなど		

# 11 ③収益認識に関する会計基準の早期適用

2021年4月以降適用が予定されている収益認識に関する会計基準※1を第2四半期決算より早期適用※2  
変更前の会計処理と比較して、第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価が48,542百万円減少

事業セグメント	取引内容	収益認識基準 (変更前)	収益認識基準 (変更後)
パートナーセールス 事業	メディアレップなど	グロス計上	ネット計上
	人材派遣・業務委託	グロス計上	変更なし
アドプラットフォーム 事業	全て	グロス計上 (一部ネット計上)	ネット計上
コンシューマー 事業	VM社ポイント交換・オンデマンド ギフト・ギブピー	グロス計上	ネット計上
	上記以外	グロス計上 (一部ネット計上)	変更なし

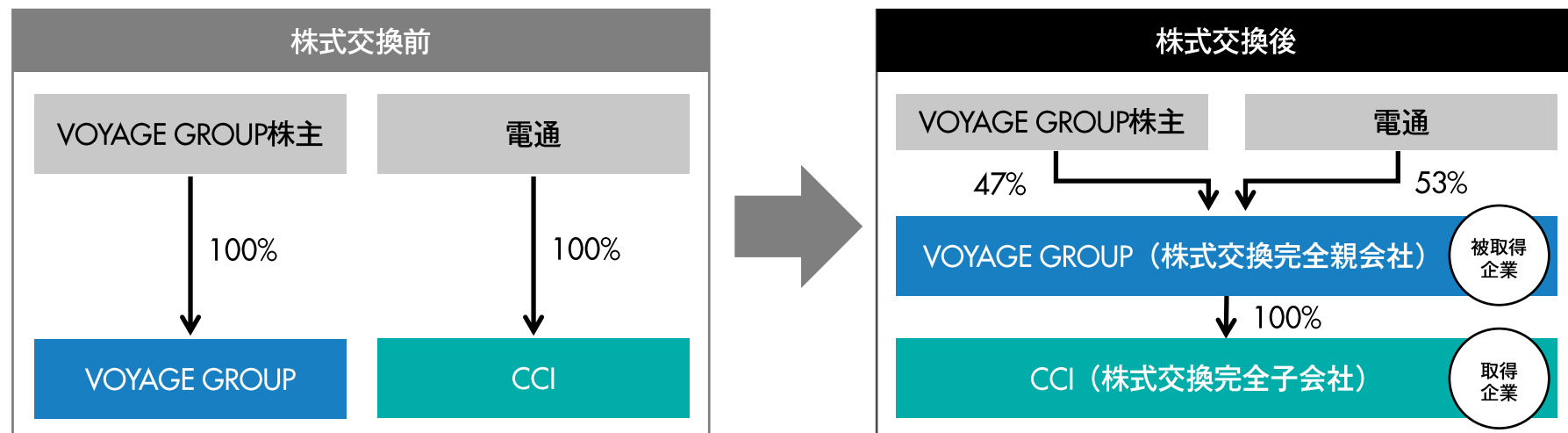
※1 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」  
 ※2 原則適用は2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から（当社グループの場合は2022年1月から強制適用）

# 12 ④ 逆取得の会計処理の適用

本経営統合は逆取得の会計処理が適用されるため、  
第2四半期決算以降、第1四半期の損益計算書にはCCIの業績を反映

	第1四半期 2018年10月～12月	第2四半期 2019年1月～3月	第3四半期 2019年4月～6月	第4四半期 2019年7月～9月	第5四半期 2019年10月～12月
VOYAGE GROUP	前回発表	CARTA HOLDINGS (第2四半期決算以降の対象)			
CCI	今回発表 以降				

※逆取得の会計処理：株式交換後にCCIの株主である電通が、VOYAGE GROUPの議決権の過半数を保有することから、会社法上の株式交換完全子会社であるCCIを企業結合会計上では取得企業とする処理のこと



# 13 ⑤ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの計上について

本経営統合に際するPPA※1の結果、年間約6.5億円の償却費が発生

(単位：百万円)

資産項目	金額
無形資産 ポイントメディアの商標権	812
無形資産 アドプラットフォームの技術関連資産	2,470
のれん※2	3,177
合計	6,459
(年間償却金額)	645

※1 PPA (Purchase Price Allocation) : 買収時に発生する購入価額と純資産との差額を、資産項目別に評価し直す手続きのこと

※2 経営統合前に計上されていたのれんの再評価分も含む

# AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14** 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要
- P.20 連結業績予想と進捗
- P.24 主要事業の概況
- P.46 参考資料



前年同四半期比で売上総利益+18.9%、EBITDA+28.4%と力強く成長  
業績予想に対しても順調に進捗、経営統合による新しい取り組みも開始

(単位：百万円)	2019年12月期第2四半期 (2019年1月～3月)			2019年12月期第2四半期累計 (2018年10月～2019年3月)		
	実績	前年同四半期※1		実績	通期予想	
		実績	増減率		通期予想	進捗率
売上高	6,159	5,271	+16.9%	9,390	26,000	36.1%
売上総利益	5,371	4,517	+18.9%	8,356	—	—
販売管理費	4,032	3,476	+16.0%	6,260	—	—
営業利益	1,338	1,040	+28.6%	2,095	2,500	83.8%
経常利益	1,369	1,062	+28.9%	2,137	2,500	85.5%
当期純利益	764	664	+15.0%	1,280	1,600	80.1%
EBITDA※2	1,626	1,266	+28.4%	2,470	3,900	63.4%

※1 比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※2 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

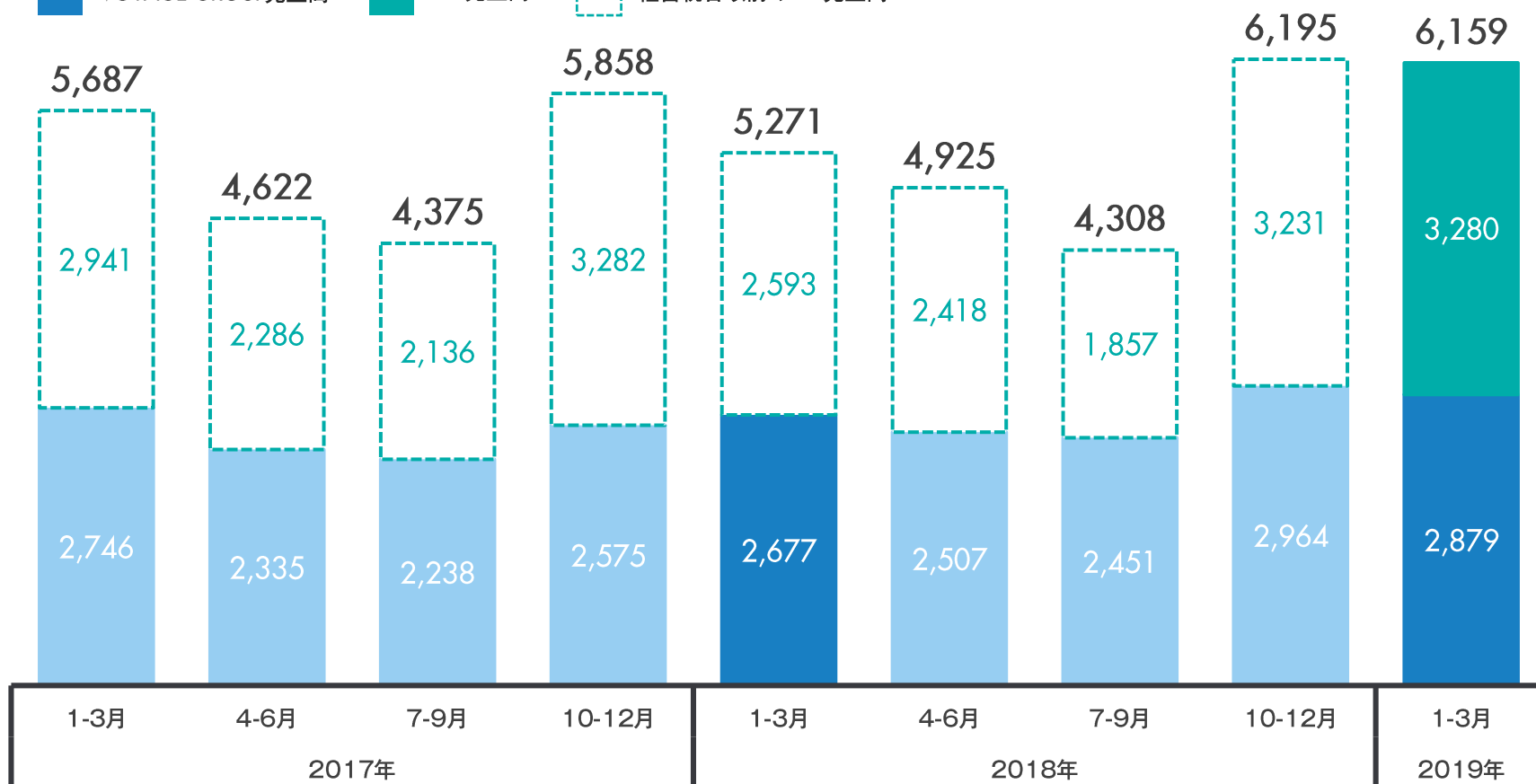


# 16 連結売上高 四半期推移

前年同四半期比で16.9%増の61.5億円に

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP売上高 ■ CCI売上高 □ 経営統合以前のCCI売上高



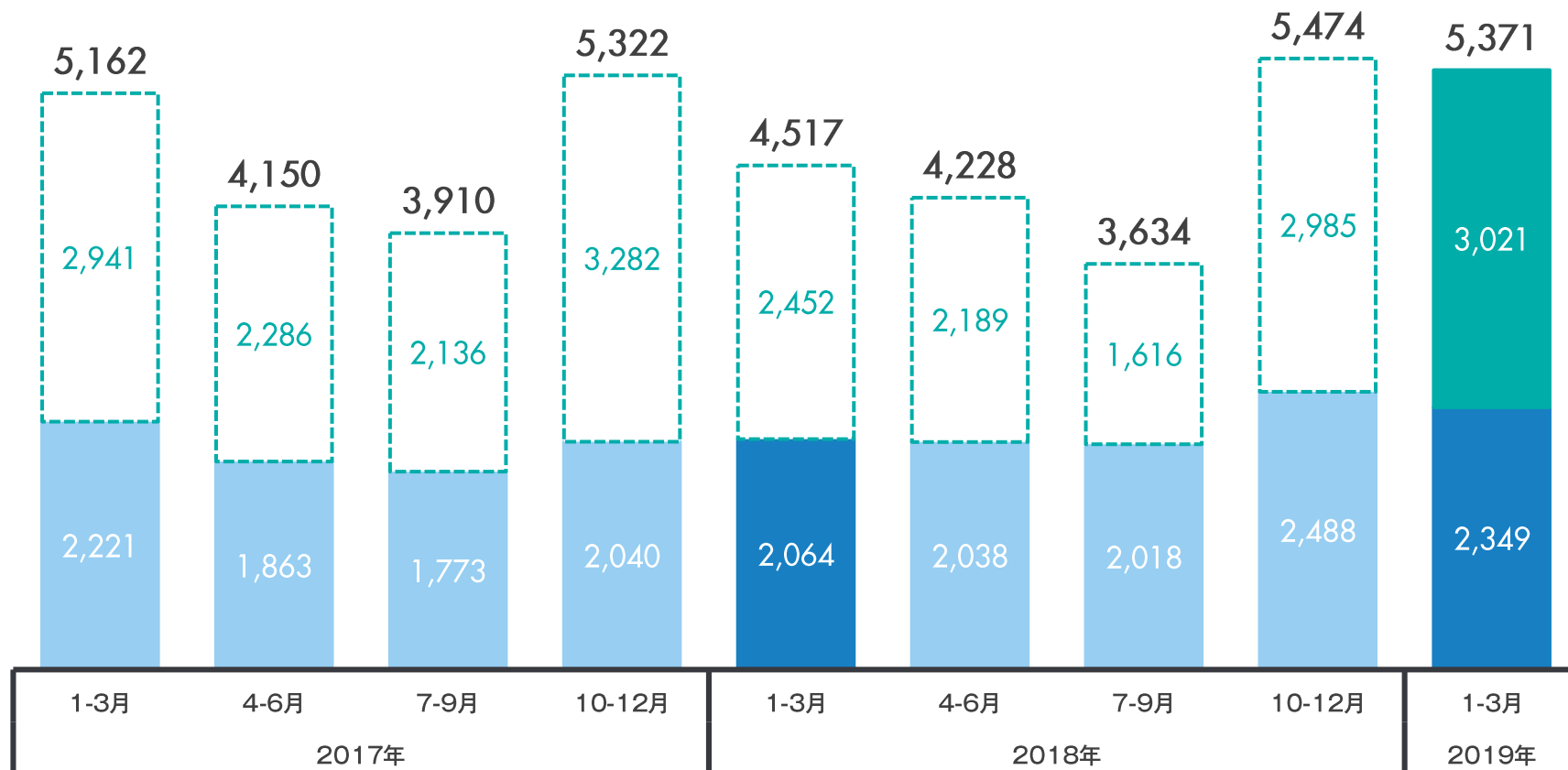
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# 17 連結売上総利益 四半期推移

前年同四半期比で18.9%増の53.7億円に

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP売上総利益 ■ CCI売上総利益 □ 経営統合以前のCCI売上総利益



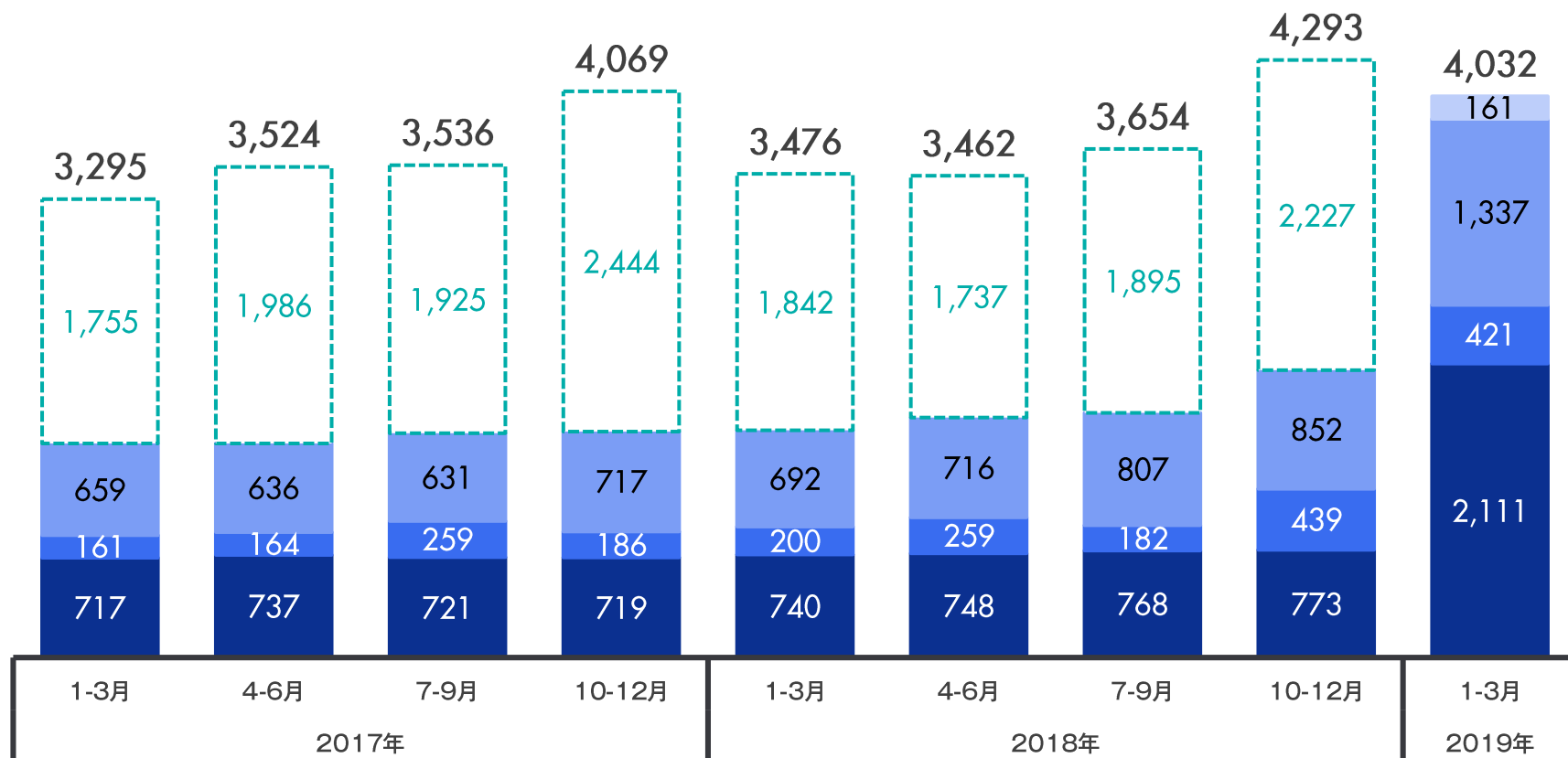
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# 18 連結販売管理費 四半期推移

前年同四半期比で16.0%増の40.3億円  
 新入社員61名の入社やオフィス移転等により4月以降は増加を見込む

単位：百万円

■ 人件費 ■ 広告宣伝費及び販売管理費 ■ その他 ■ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費 □ 経営統合以前のCCI販売管理費



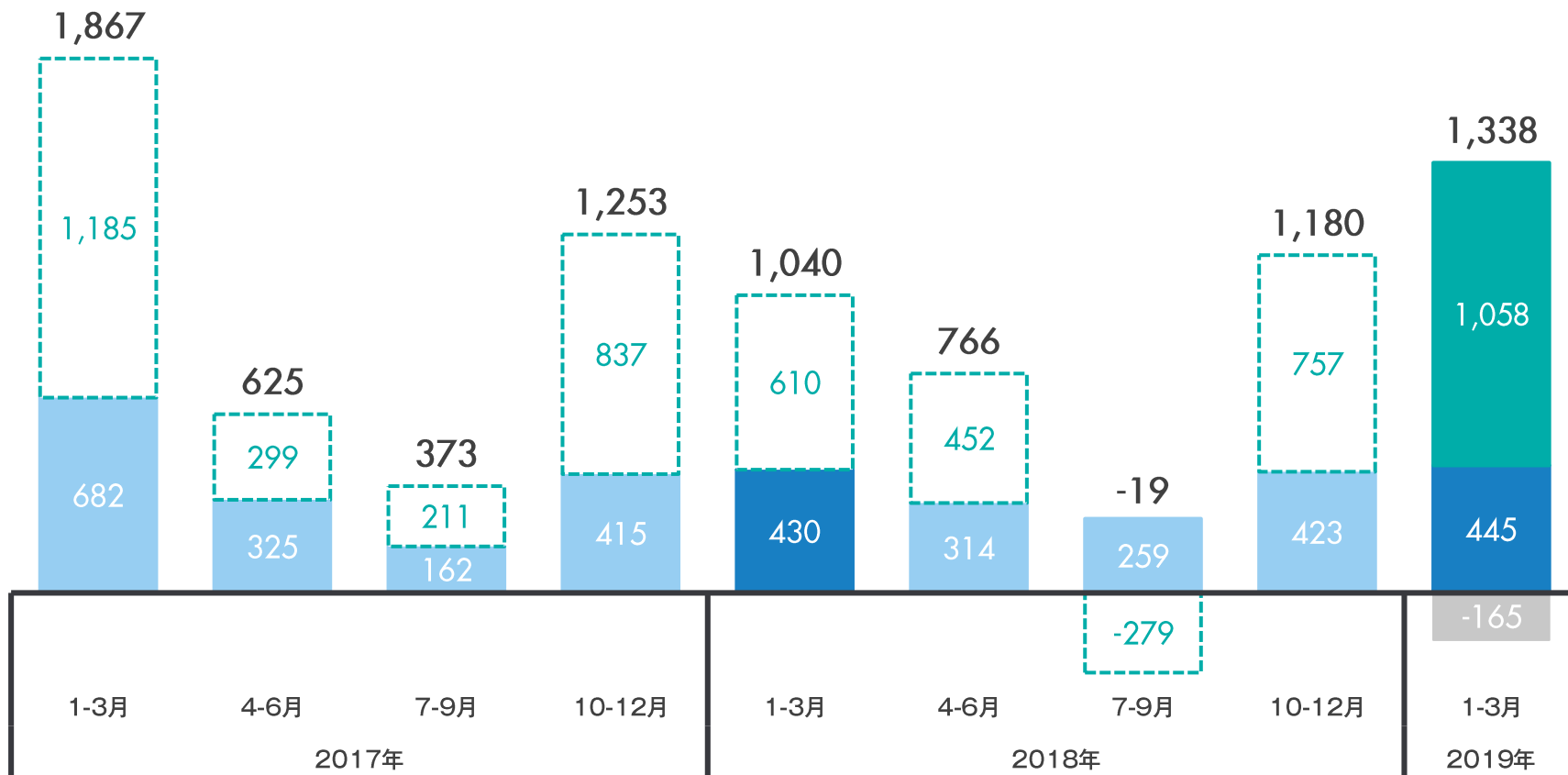
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# 19 連結営業利益 四半期推移

前年同四半期比で28.6%増の13.3億円に

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP営業利益
 ■ CCI営業利益
 □ 経営統合以前のCCI営業利益
 ■ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費等



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# AGENDA

P.02 会社概要

P.08 会計上の留意事項

P.14 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要

P.20 連結業績予想と進捗

P.24 主要事業の概況

P.46 参考資料



# 21 2019年12月期通期 連結業績予想

	第1四半期 2018年10月～12月	第2四半期 2019年1月～3月	第3四半期 2019年4月～6月	第4四半期 2019年7月～9月	第5四半期 2019年10月～12月
VOYAGE GROUP		CARTA HOLDINGS			
CCI	①				

(単位：百万円)	①第1四半期実績 2018年10月～12月※1	②第2～5四半期予想		③通期予想 2018年10月～2019年12月
		2019年1月～12月	(参考) 前年実績※2 2018年1月～12月	
売上高	3,231	22,769	20,991	26,000
営業利益	757	1,743	2,968	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	516	1,084	2,211	1,600
EBITDA※3	843	3,057	4,302	3,900

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したCCIの数値

※2 比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※3 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

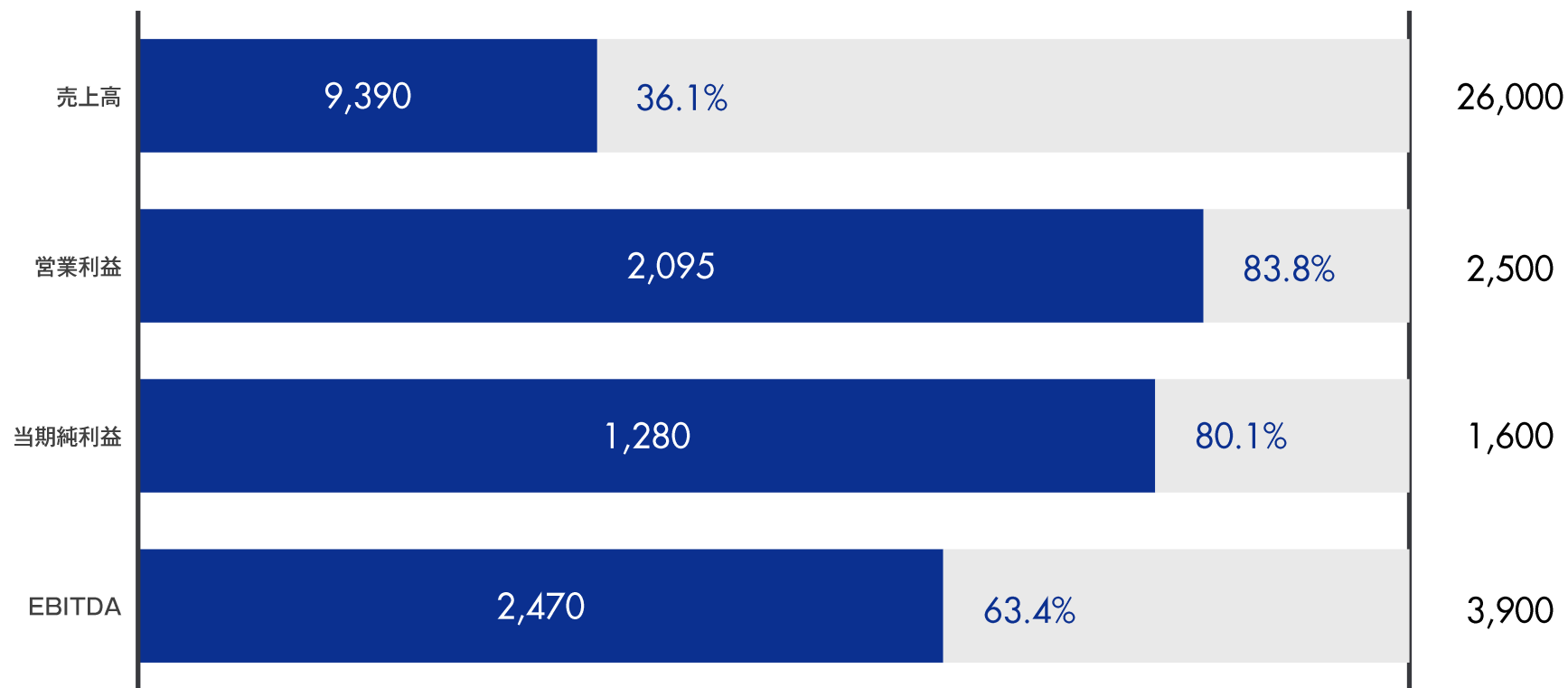
# 22 2019年12月期通期 連結業績予想に対する進捗

順調に進捗しているものの「中期経営計画CARTA2022」の達成を見据えて投資を行うこと  
また4月以降のコスト増要因や季節要因による変動等があることから業績予想は据え置き

単位：百万円

## 2Q累計進捗率

2019年12月期  
通期業績予想

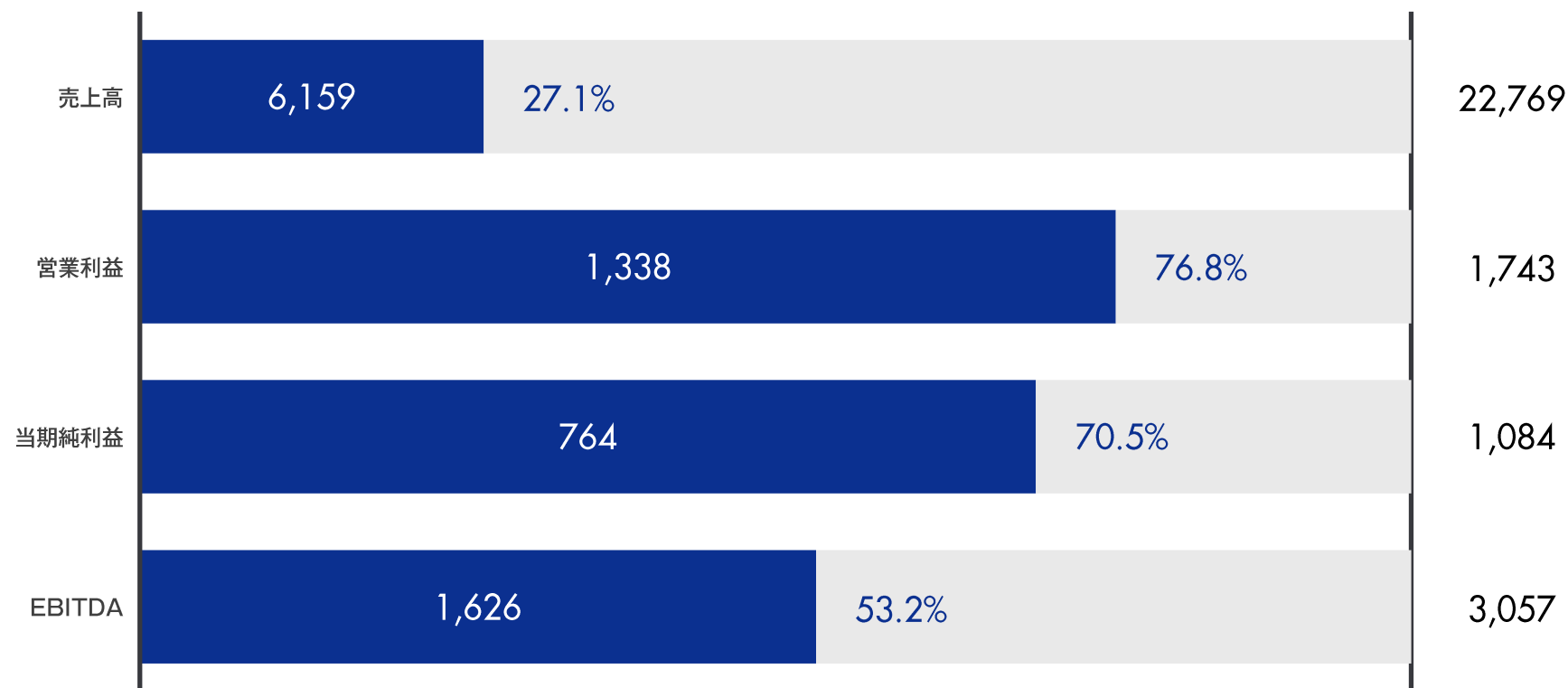




## 全指標において順調に進捗

単位：百万円

1～3月進捗率

2019年12ヶ月  
換算業績予想※

※ 15ヶ月間の変則決算である2019年12月期通期業績予想のうち、2019年1～12月の12ヶ月分の業績予想となります

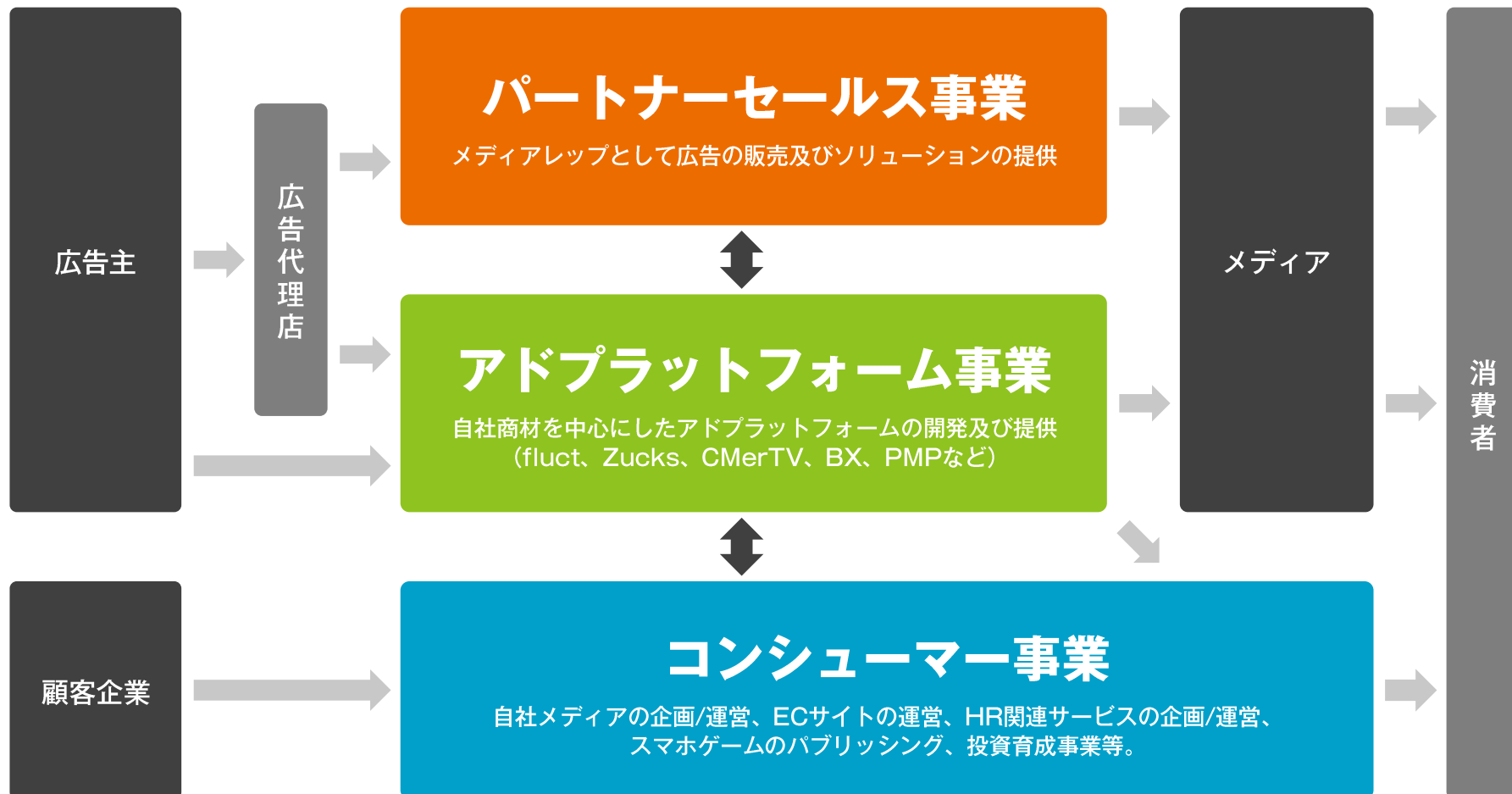
# AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要
- P.20 連結業績予想と進捗
- P.24** 主要事業の概況
- P.46 参考資料



# 25 事業概要及び成長戦略

アドプラットフォーム事業及びパートナーセールス事業を中心に自社メディアなどの  
コンシューマー事業を行うことで、広告市場における垂直統合を推進  
オーガニックでの成長を原則としながらもM&Aも視野に



# 26 広告関連のプロダクト/サービス



広告主  
広告会社



メディア

## DSP / アドネットワーク



スマートフォン特化型  
CPC型アドネットワーク



ブランド広告主向け  
アドプラットフォーム

Perfect View™  
Network

ブランド広告主向け  
スマートフォン  
動画アドネットワーク

## SSP



メディア向け収益最大化を  
支援するSSP

## PMP



音声コンテンツ媒体への  
音声広告配信サービス



プレミアム媒体/コンテンツ面への  
インストリーム運用型広告サービス



プレミアム媒体/広告枠への  
広告配信を実現するPMP



280以上のプレミアム媒体社が  
参画するPMP

## DMP



4億ユニークブラウザ、  
1億モバイル広告IDのデータを保有・分析

## 3PAS



ビデオ等広告テンプレート  
クリエイティブ配信・管理

## アフィリエイト



スマートフォン特化型  
CPI/CPA広告ネットワーク

## デジタルサイネージ



美容室に特化した  
デジタルサイネージ放送局

## メディア向けツール



広告在庫資産  
運用サービス

## 情報サービス



インターネット  
メディア広告情報



ソーシャルリスニング

# PARTNER SALES

パートナーセールス事業



広告主  
広告会社

### 広告主・広告会社向けサービス

マーケティング活動に必要な機能  
(部署・リソース)をニーズに合わせて提供

メディアプランニング

メディアバイイング

クリエイティブ制作

入稿オペレーション

運用コンサルティング

運用オペレーション

分析レポート

### 媒体社向け総合支援サービス

1,500以上のメディアを取扱い  
媒体社ごとに最適な形で各種サービスをカスタマイズし、課題解決に向けた柔軟な取り組みが可能

CCI MEDIA DOCK

流入施策・サイト改善

広告商品開発

収益最大化

業務支援

コンテンツ開発



メディア

### データコンサルティングサービス



プライベートDMP



プランニング  
広告出稿



効果検証



データ利用

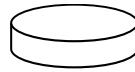


総合的なデータ解析

最適な基盤システムの構築、  
機械学習や深層学習を  
活用したデータ解析、  
データを活用した  
マーケティング施策の推進



DataCurrent



プライベートDMP



広告配信



タイアップ  
分析レポート



データ収益化



オフラインプライバシー  
管理サービス

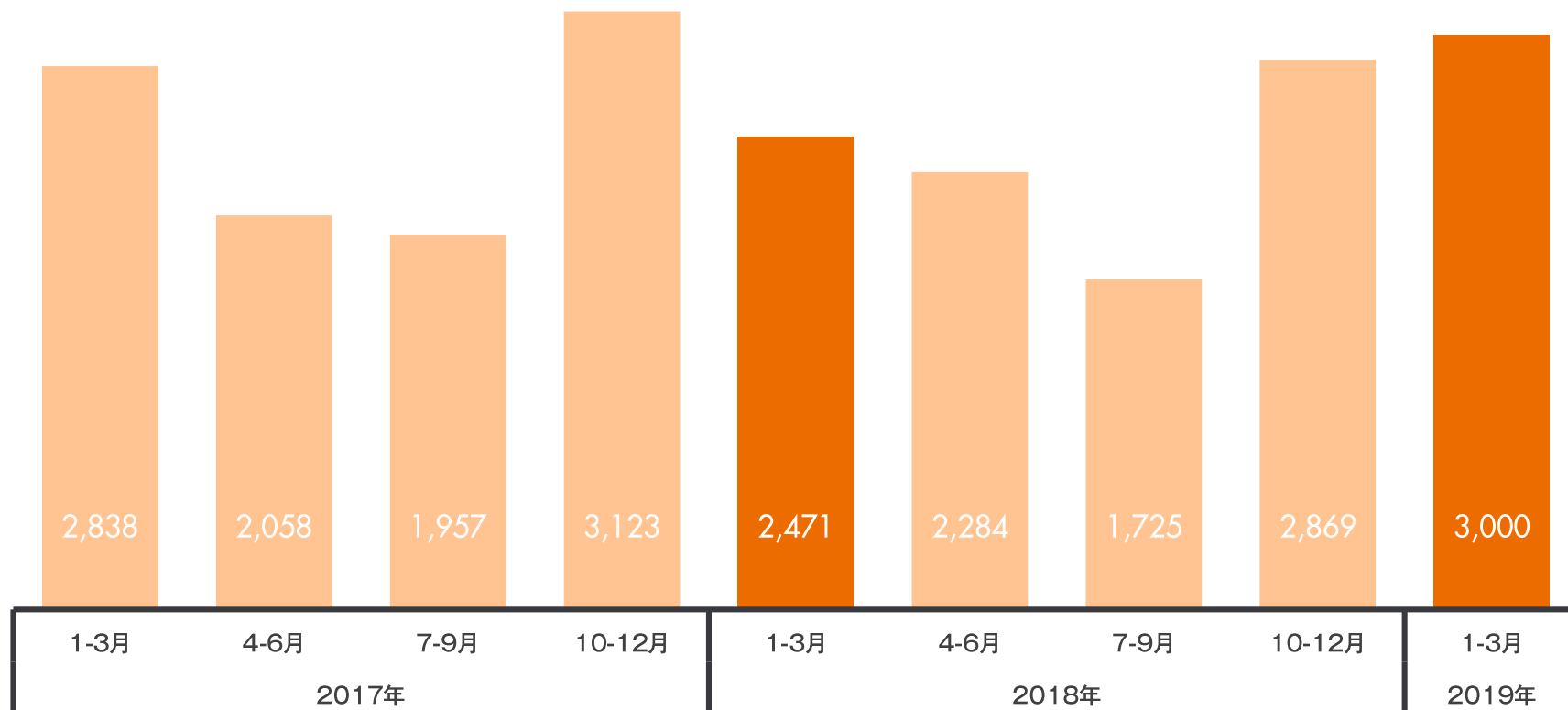


# 29 パートナーセールス事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で21.4%増の30.0億円に

単位：百万円

売上高



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したCCIの数値（監査対象外）

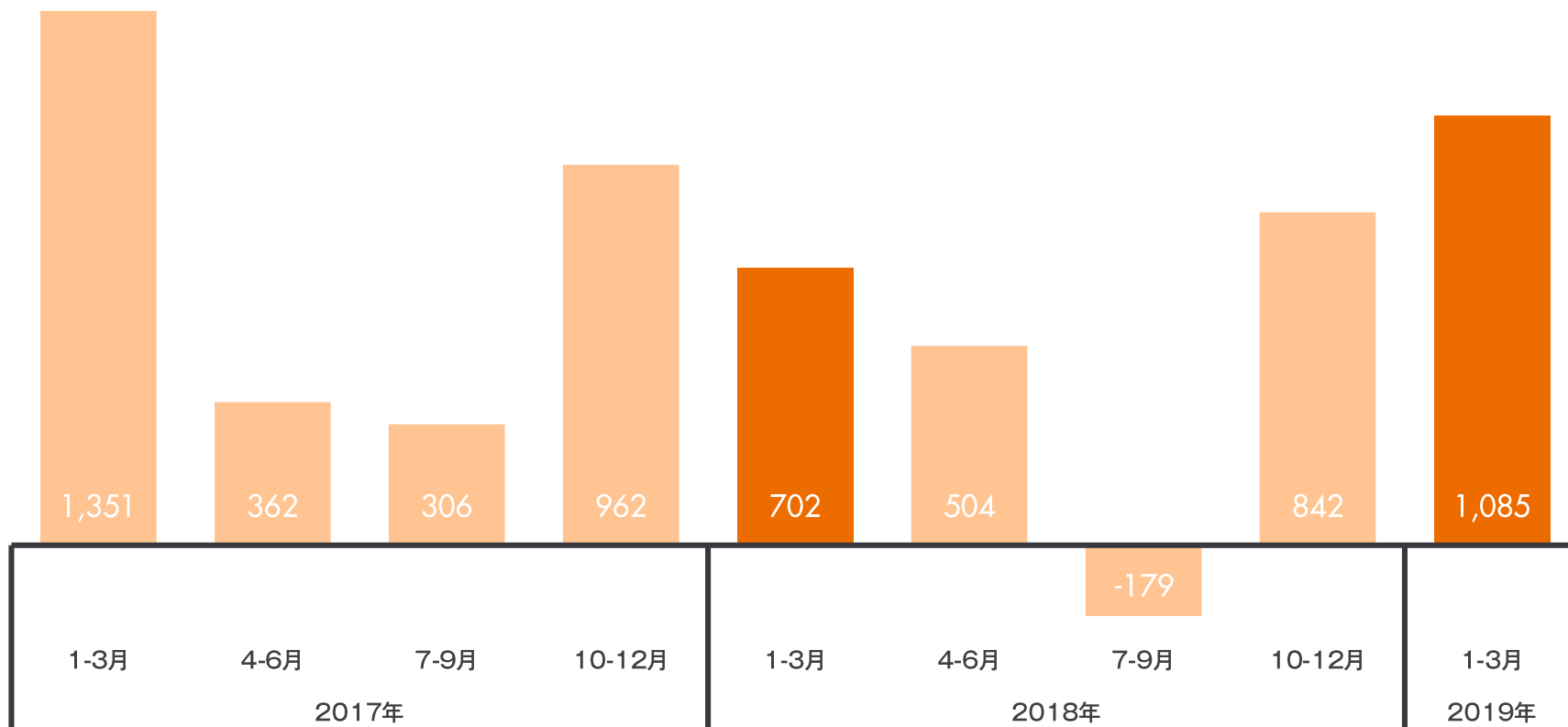


# 30 パートナーセールス事業営業利益 四半期推移

前年同四半期比で54.6%増の10.8億円に

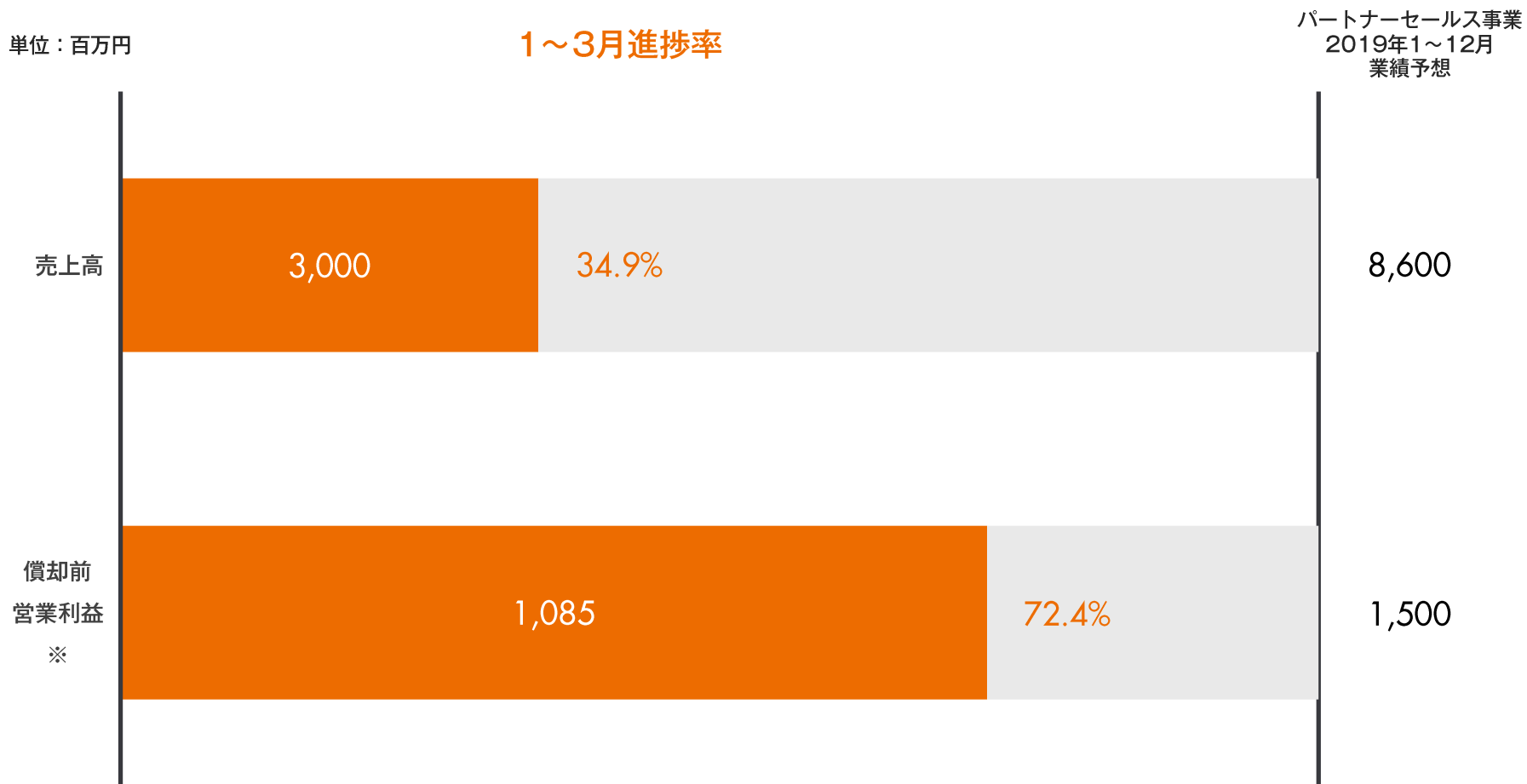
単位：百万円

償却前営業利益※1



※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益。なおパートナーセールス事業においては経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費は発生していない

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したCCIの数値（監査対象外）



※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

## ▶ 2月12日

CCIと講談社、ViViの公式TikTokアカウントを構築、また、TikTokを活用した共同開発広告商品を販売開始

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_02\\_12/02-2/](https://www.cci.co.jp/news/2019_02_12/02-2/)

## ▶ 4月4日

CCI、インフルエンサープロダクション5社と、

若年層向けコンテンツ企画・開発コンソーシアム「ハタアゲ」設立

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_04\\_04/1-57/](https://www.cci.co.jp/news/2019_04_04/1-57/)

## ▶ 4月24日

CCIの「DataCurrent」、「LINE Biz-Solutions Partner Program」において、

運用型広告「LINE Ads Platform」の「Data Provider Partner」に認定

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_04\\_24/1-59/](https://www.cci.co.jp/news/2019_04_24/1-59/)

## ▶ 5月14日

CCI、データ活用推進に特化した専門会社「株式会社DataCurrent」を設立

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_05\\_14/1-62/](https://www.cci.co.jp/news/2019_05_14/1-62/)

# 33 主なトピックス（電通との協業）

## ▶ 1月21日

CCIと電通、Google Marketing Platformを活用し、  
都内でOOH広告のプログラマティック売買と配信の実証実験を開始

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_01\\_21/1-51/](https://www.cci.co.jp/news/2019_01_21/1-51/)

## ▶ 3月19日

CCI、電通、電通デジタル、データアーティスト、  
AIを活用したソーシャルメディアにおける広告クリエイティブ効果予測ツール「MONALISA」を開発

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_03\\_19/1-56/](https://www.cci.co.jp/news/2019_03_19/1-56/)

## ▶ 5月8日

プレミアムな音声コンテンツを提供する媒体を対象にした音声広告配信サービス  
「Premium Audio™広告」の提供を開始

[https://www.cci.co.jp/news/2019\\_05\\_08/1-60/](https://www.cci.co.jp/news/2019_05_08/1-60/)

# AD PLATFORM

アドプラットフォーム事業

# 35 アドプラットフォーム事業

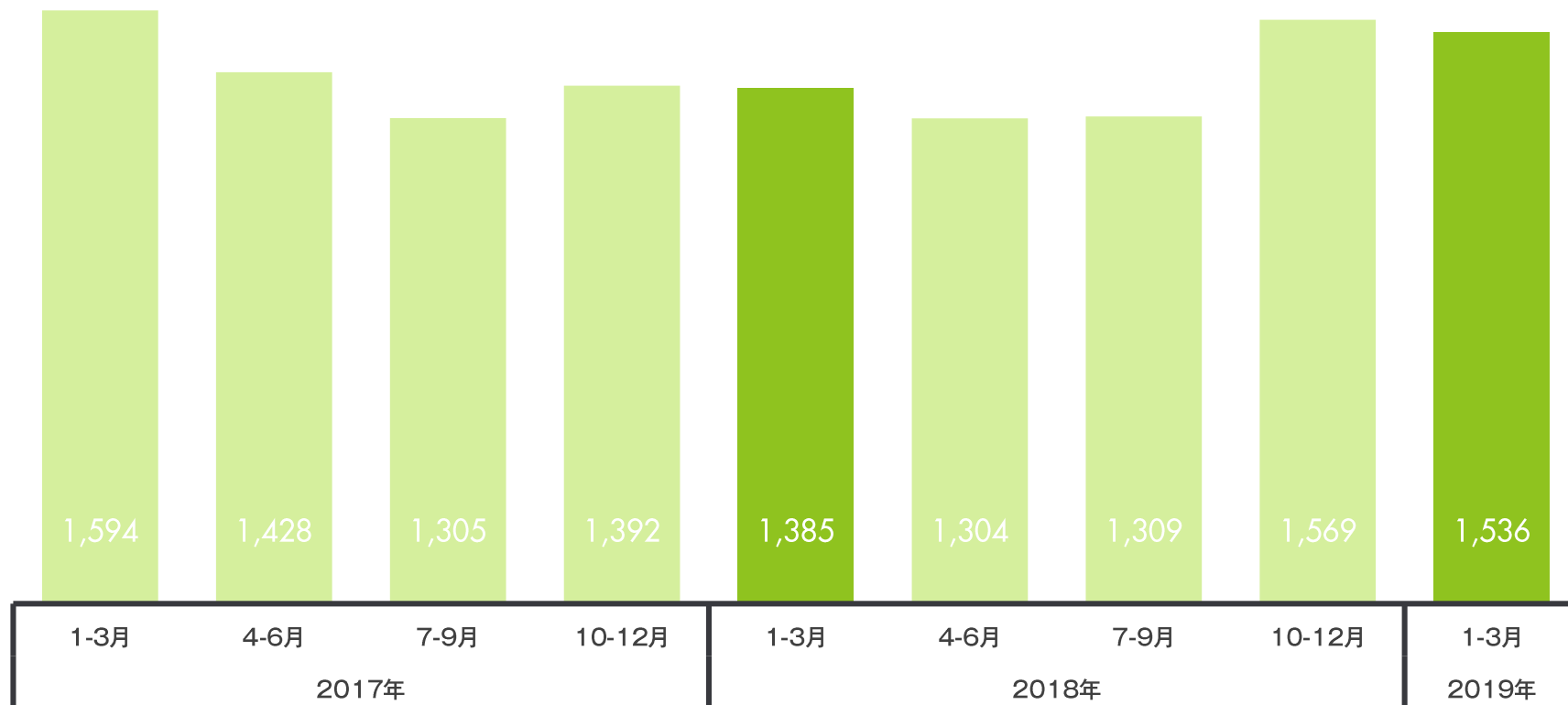


# 36 アドプラットフォーム事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で10.9%増の15.3億円に

単位：百万円

売上高



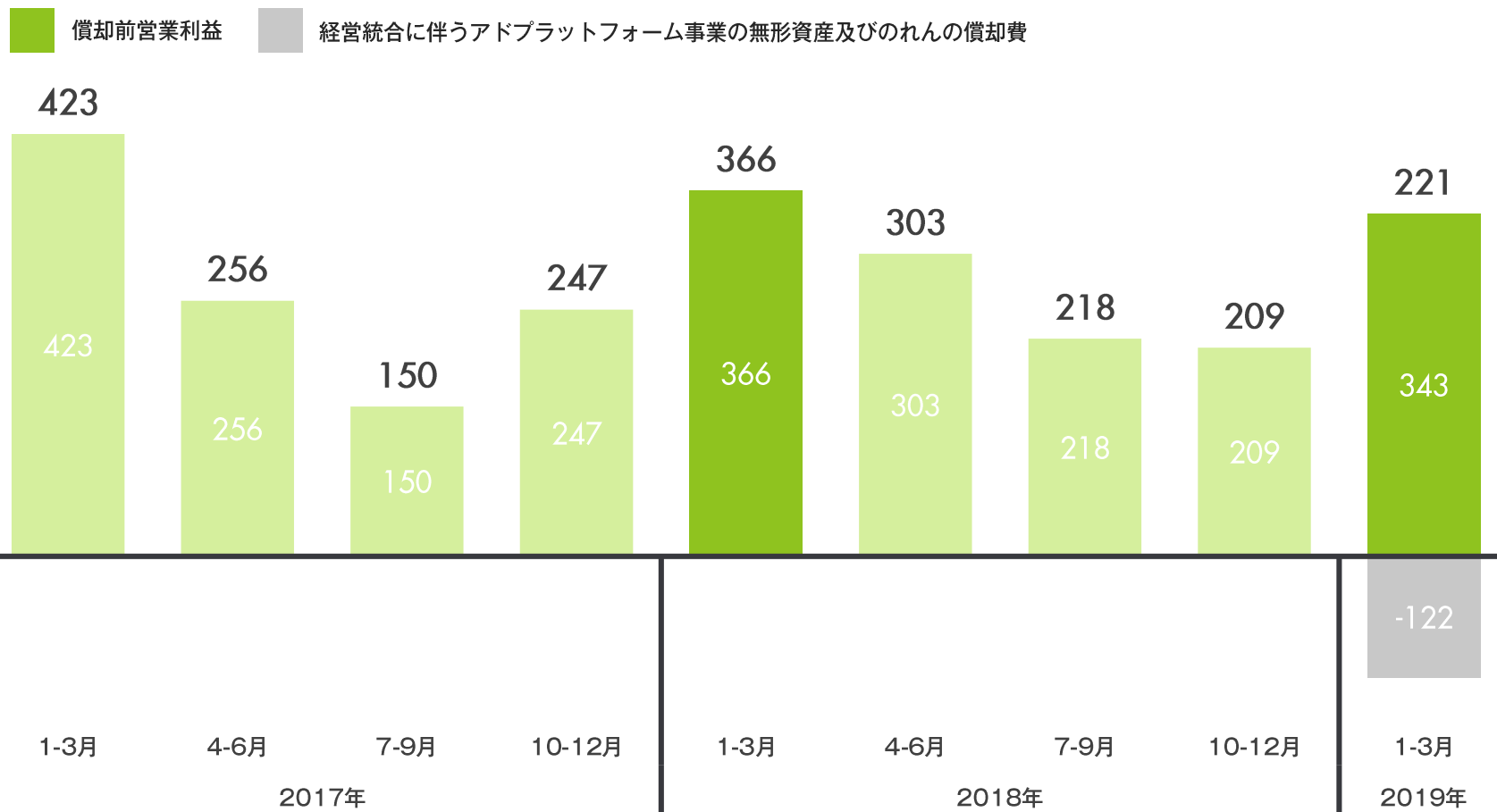
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）



# 37 アドプラットフォーム事業営業利益 四半期推移

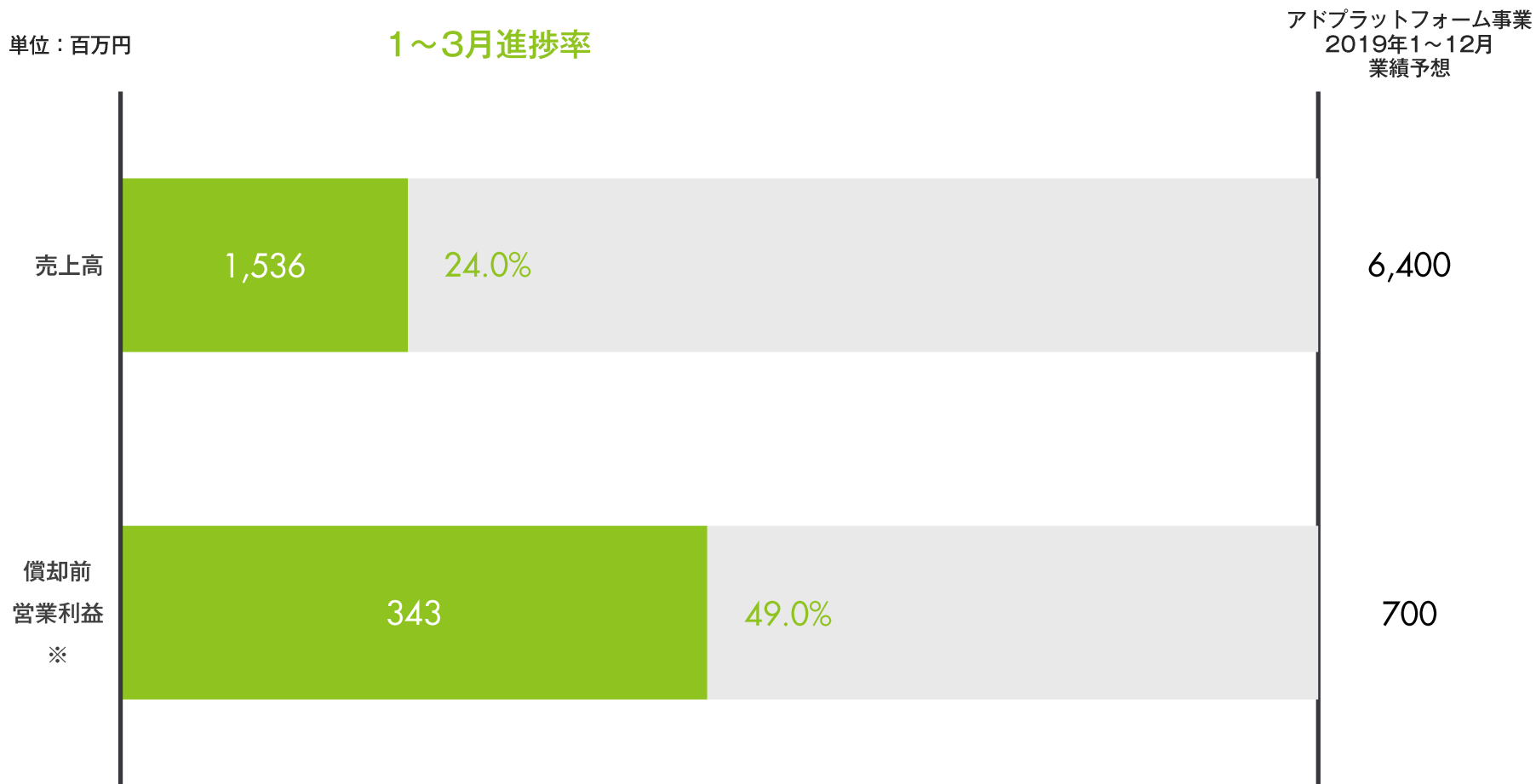
償却前営業利益※1は前年同四半期比で6.2%減の3.4億円に

単位：百万円



※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）



※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

## ▶ 4月19日

ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」をリリース  
多様なディスプレイフォーマットへの対応や、VOYAGE GROUPが保有する独自データの活用、  
オンラインメディアの計測カスタマイズなどが可能

[https://voyagegroup.com/news/press/01\\_20190419\\_01/](https://voyagegroup.com/news/press/01_20190419_01/)

## ▶ 5月8日

ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」に、オーディオ広告配信機能を拡充し、  
「radiko」「Spotify」へオーディオ広告のプログラマティック配信を順次開始

[https://voyagegroup.com/news/press/01\\_20190508\\_01/](https://voyagegroup.com/news/press/01_20190508_01/)

# CONSUMER

コンシューマー事業

## メディア



会員数600万人を超える  
ポイントサイト「ECナビ」の企画・運営



170万人のアンケートモニターを抱え  
「リサーチパネル」の企画・運営



ポイント交換プラットフォーム  
「PeX」の企画・運営



子育てママのための  
無料プリント整理アプリ



国内最大の  
無料辞典サイト



マンガ・アニメ  
百科事典サイト



ゲーム総合メディア



iPhone/iPadアプリを  
比較・検討できるサイト



学生向け旅行メディア

## HR・ゲーム・ECなど



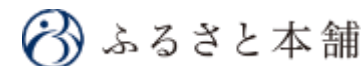
キャリア支援事業



海外のスマートフォン向けゲームの  
パブリッシング・マーケティング事業



通販化粧品「ViTAKT」の  
企画・販売



ふるさと納税サイト  
「ふるさと本舗」の企画・運営



家事支援サービス  
「カジタク」のネット販売事業



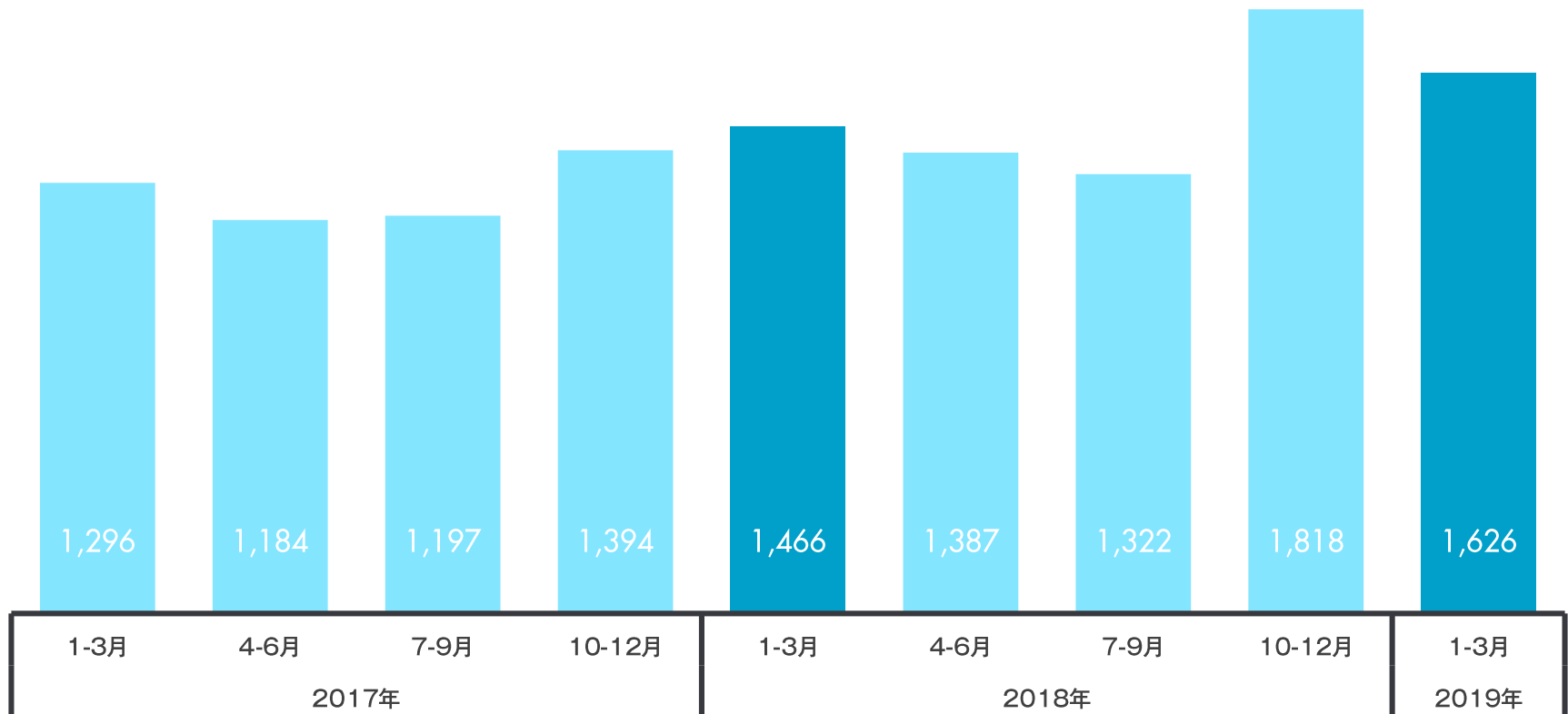
未上場インターネット関連  
ベンチャー企業への投資

# 42 コンシューマー事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で10.9%増の16.2億円に

単位：百万円

売上高



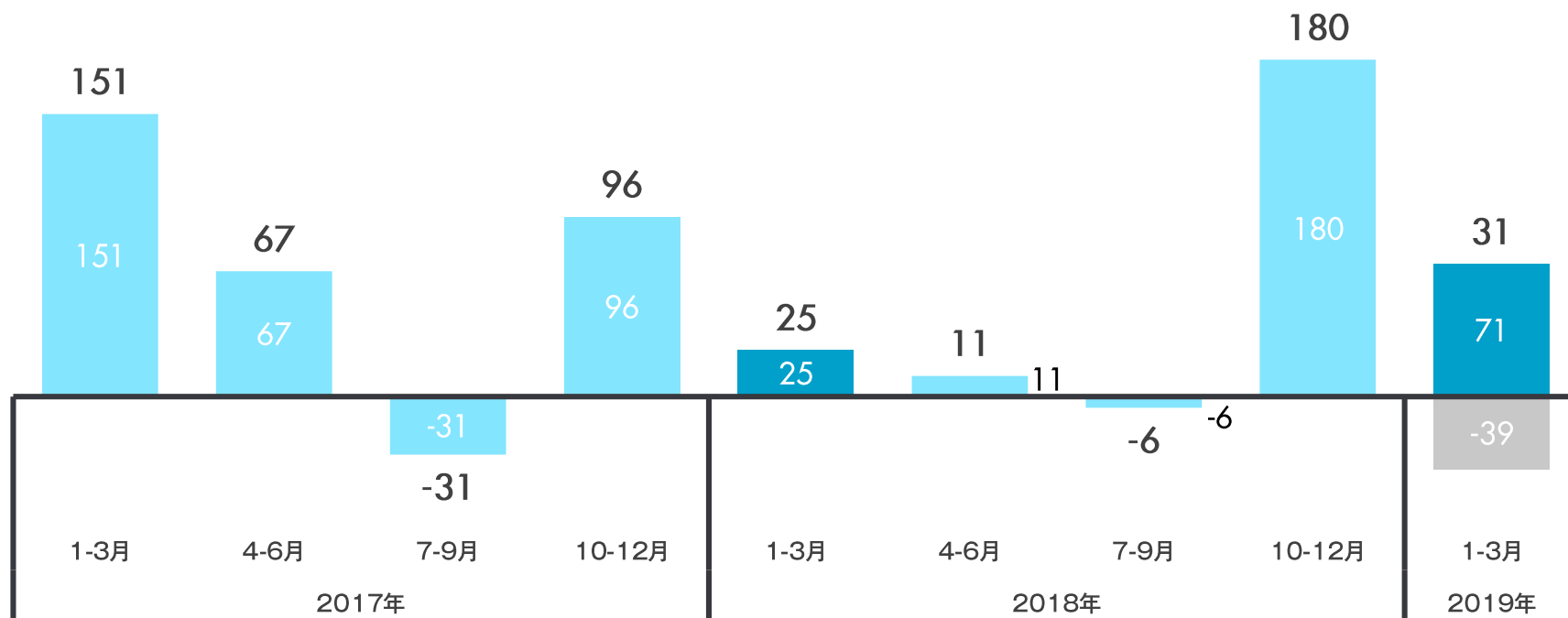
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

# 43 コンシューマー事業営業利益 四半期推移

償却前営業利益※1は前年同四半期比で180.1%増の0.7億円に

単位：百万円

■ 償却前営業利益 ■ 経営統合に伴うコンシューマー事業の無形資産及びのれんの償却費

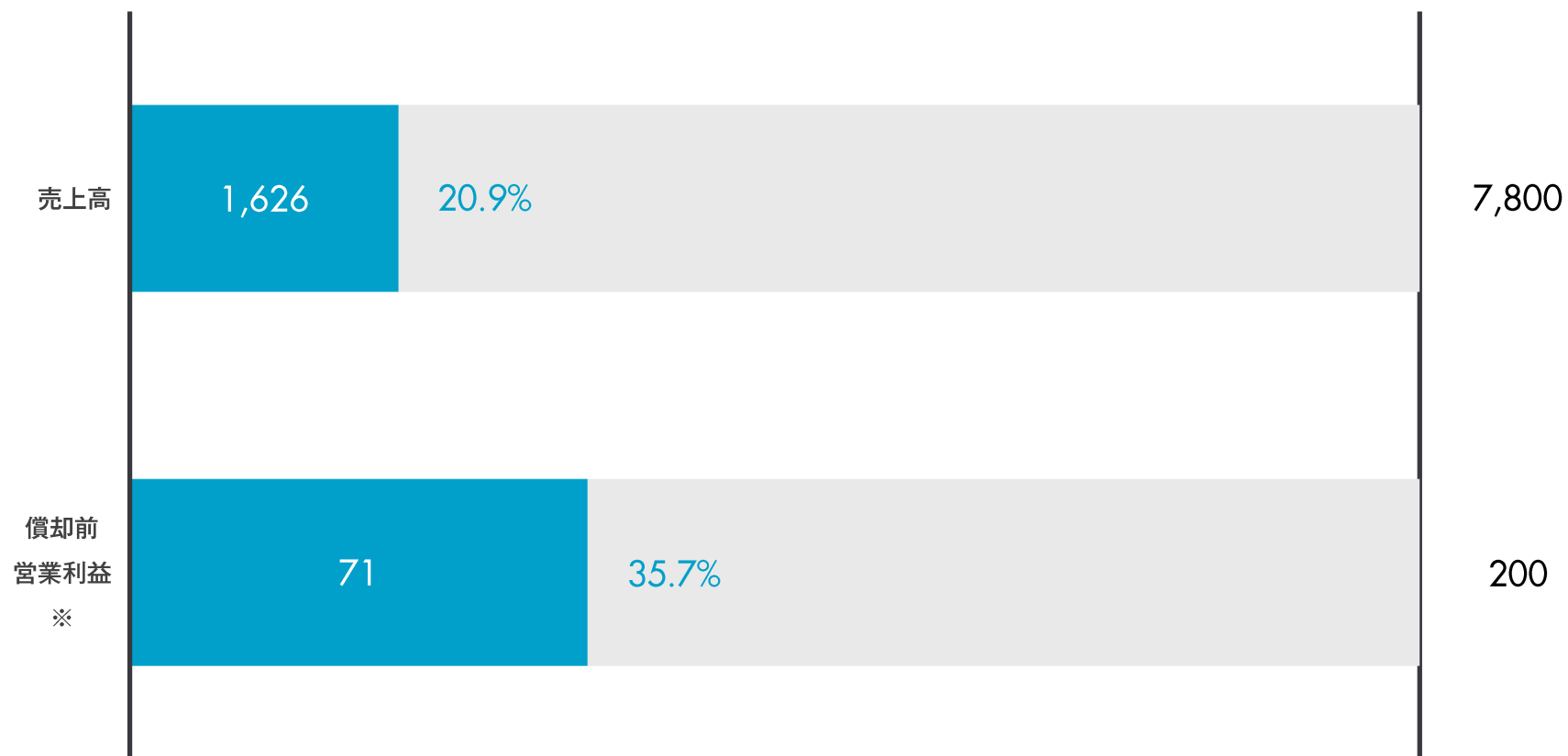


※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

単位：百万円

1～3月進捗率

コンシューマー事業  
2019年1～12月  
業績予想

※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益



## ▶ 2月7日

「ECナビ」、「ママ」と、その家族のための全国最大級のフェスティバル「HAPPY MAMA FESTA」に出展  
[https://voyagegroup.com/news/press/01\\_20190207\\_01/](https://voyagegroup.com/news/press/01_20190207_01/)

## ▶ 3月22日

VOYAGE GAMES、大人気漫画の世界観を楽しめる育成パズルゲーム「ミイラの飼い方」正式配信開始  
[https://voyagegroup.com/news/press/01\\_20190322\\_01/](https://voyagegroup.com/news/press/01_20190322_01/)

## ▶ 4月9日

子供のプリント整理アプリ「ポスリー」10万ダウンロード突破  
[https://voyagegroup.com/news/press/01\\_20190409\\_01/](https://voyagegroup.com/news/press/01_20190409_01/)

# AGENDA

P.02 会社概要

P.08 会計上の留意事項

P.14 2019年12月期  
第2四半期連結決算の概要

P.20 連結業績予想と進捗

P.24 主要事業の概況

P.46 参考資料



中期経営計画  
「CARTA 2022」  
(再掲)

**CARTA**  
HOLDINGS

中期経営計画

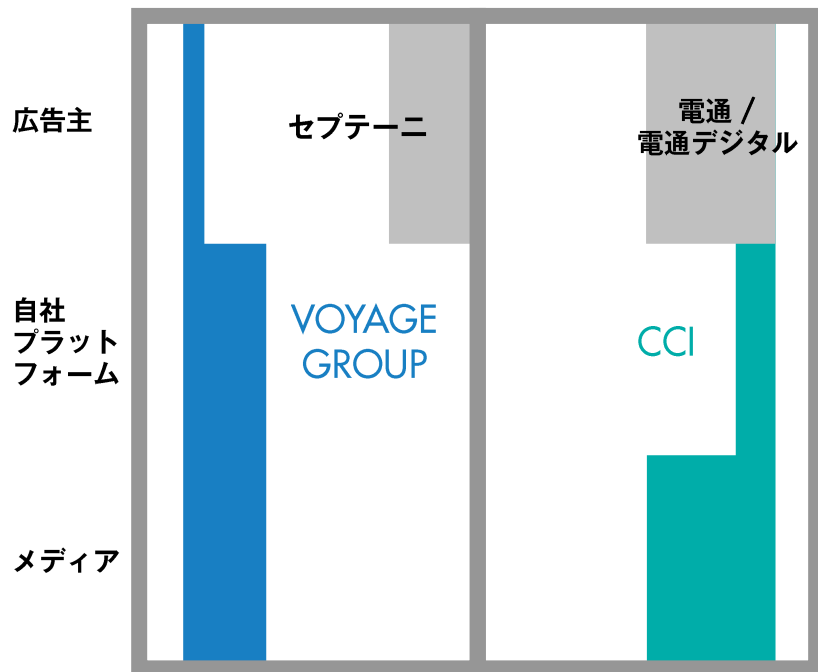
**「CARTA 2022」**

~NEW JOURNEY, NEW STANDARD~

## インターネット広告市場

パフォーマンス広告

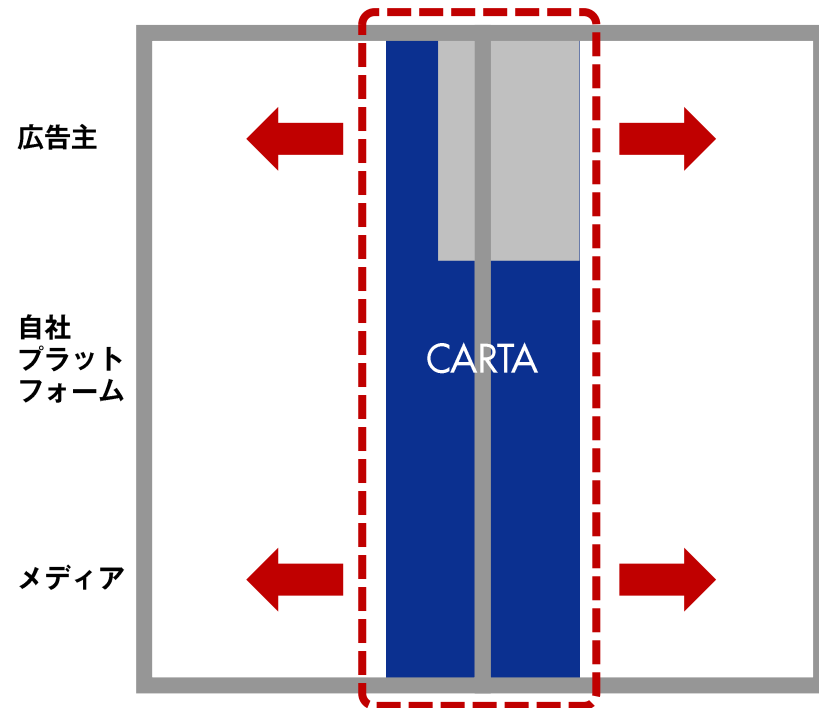
ブランド広告



## インターネット広告市場

パフォーマンス広告

ブランド広告



これまで各々で垂直統合と競争優位性の向上を目指してきた。

経営統合によりパフォーマンス広告 / ブランド広告の両市場をカバーする、垂直統合した事業体を確立する。その総合力を武器に自社プラットフォームを強化し、広告主・メディアのシェアを拡大。

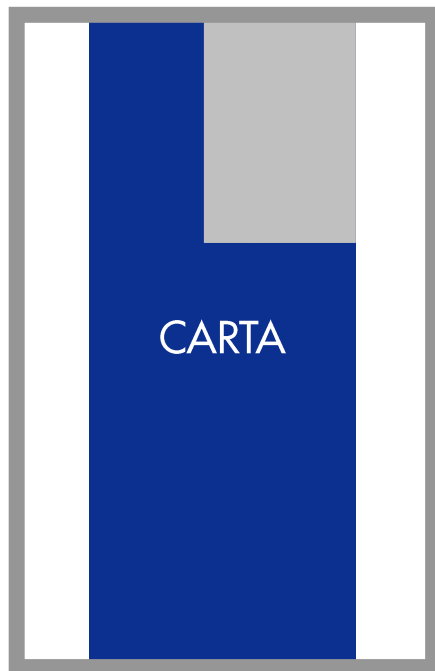
# 50 CARTAの成長シナリオ - Phase2-

## インターネット広告市場

広告主

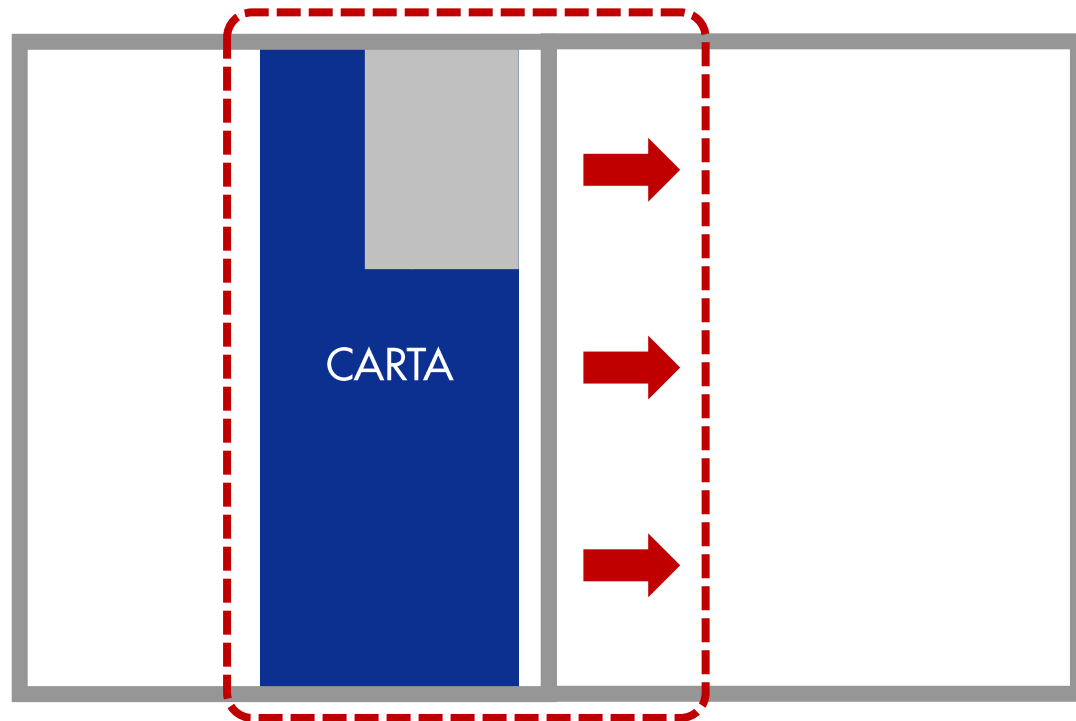
自社  
プラットフォーム

メディア



## インターネット広告市場

1.5兆円市場



## テレビ / OOH広告市場

2.5兆円市場

パフォーマンス広告 / ブランド広告両市場の境界線がなくなっていく中で、インターネット広告領域において総合的な価値提供力が高い状態。

インターネット広告領域での総合力を、急速にデジタル化が進むと予想されるオフライン広告領域に展開し拡張していく。広告産業のデジタルトランスフォーメーションの先導役となる。

# 51 CARTAの成長シナリオ - Phase3-

インターネット / テレビ / OOH広告市場

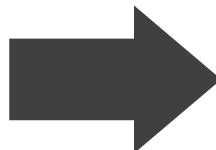
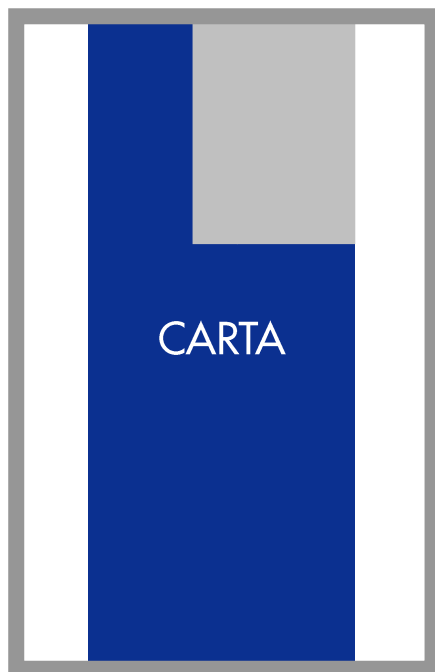
他の産業へ展開

4兆円市場

広告主

自社  
プラット  
フォーム

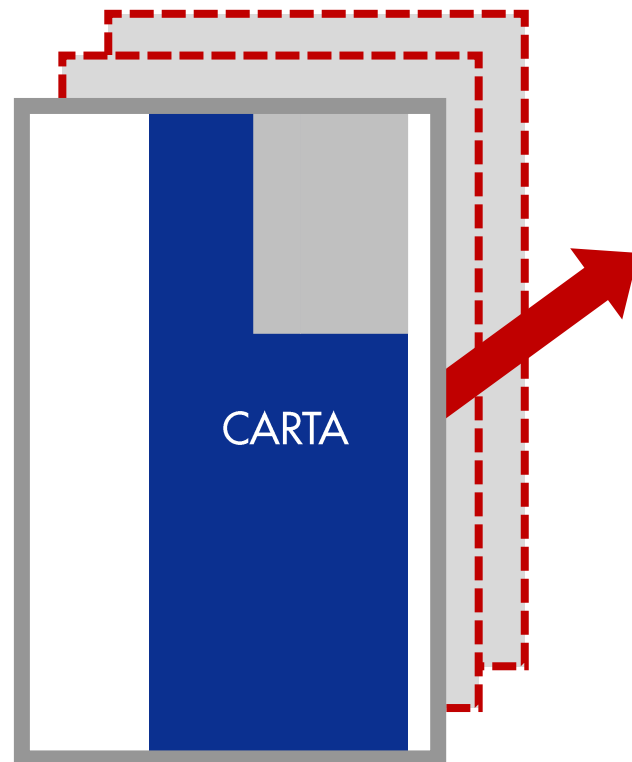
メディア



広告主

自社  
プラット  
フォーム

メディア

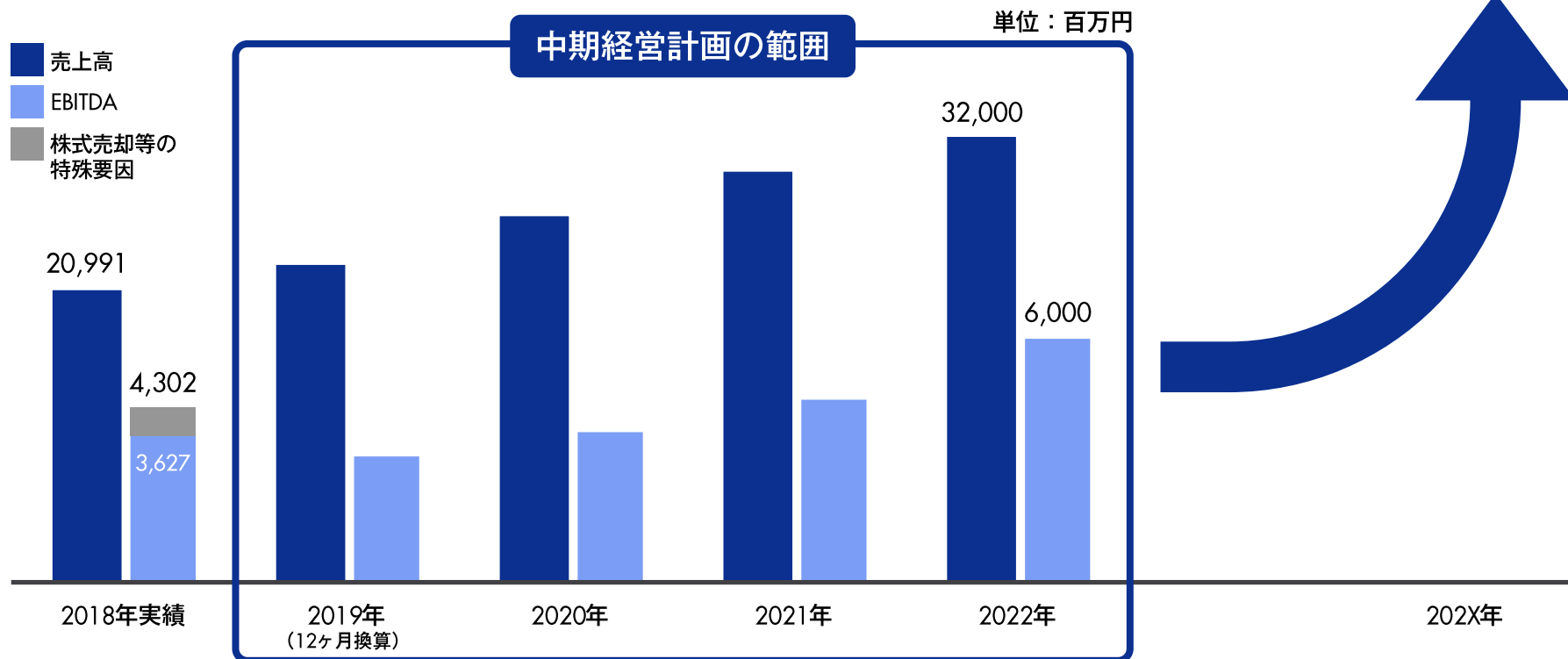


オンライン広告 / オフライン広告の境界線がなくなって  
いく中で、広告領域において総合的な価値提供力が高い  
状態。

広告領域での総合力を、デジタル化が進む全産業領域に  
展開し拡張していく。あらゆる分野のデジタルトランス  
フォーメーションの先導役となる。

# 52 中期経営計画「CARTA2022」の概要

EBITDAを重要指標とし、2022年度で60億円を目指す



## 重点的な取り組み

1. 事業シナジーの推進
2. 電通グループとの協業推進
3. 経営基盤の強化

## 成長戦略

1. 既存事業の成長
2. M&Aや投資による成長
3. 新領域への挑戦

飛躍の  
ステージへ

※1 各年12月期ベースでの12ヶ月間の数値。2019年度は実際には15ヶ月間の変則決算となります。

※2 2018年実績は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）



## 2022年 経営目標

売上 ————— 320 億円

EBITDA<sup>※</sup> ——— 60 億円

ROE ————— 12%

※ EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

CARTA  
HOLDINGS

CARTA  
HOLDINGS

CARTA  
HOLDINGS

# 会社概要



# CARTA HOLDINGS

会社名	株式会社CARTA HOLDINGS
設立	1999年10月8日
資本金	1,086百万円 (2019年3月末時点)
上場市場	東証第一部 (証券コード: 3688)
決算期	12月
売上高※1	19,503百万円 (2018年1~12月)
従業員数※2	1,111名 (2019年3月末時点)

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値 (監査対象外)

※2 従業員数は臨時雇用者を含まない数値

## 連結子会社

**VOYAGE**  
GROUP

株式会社VOYAGE GROUP

ポイントサイト「ECナビ」等のメディア運営、  
ブランド広告向けアドプラットフォーム  
「PORTO」の運営など

**CCI**  
CIBER COMMUNICATIONS INC.

株式会社サイバー・コミュニケーションズ

インターネット広告及び関連する下記の事業  
・広告の提案、企画、制作、運営  
・広告スペースの購入、販売

**fluct**

株式会社fluct

媒体社向け  
アドプラットフォーム  
「fluct」の運営

**Zucks**

株式会社Zucks

スマートフォン向け  
アドプラットフォーム  
「Zucks」の運営

**CMerTV**

株式会社CMerTV

動画アドプラットフォーム  
「CMerTV」の運営

**リサーチパネル**

株式会社リサーチパネル

アンケートモニターサイト  
「リサーチパネル」の運営

**VOYAGE**  
MARKETING

株式会社VOYAGE MARKETING

ポイント交換プラットフォーム  
「PeX」の運営、ポイントソリューション事業

**Lighthouse Studio**

株式会社VOYAGE Lighthouse Studio

「神ゲー攻略」等のメディア運営

**VOYAGE GAMES**

株式会社VOYAGE GAMES

ゲームマーケティング事業

**Anchor**

株式会社Anchor

デジタルマーケティング  
支援事業

**サポーターズ**

株式会社サポーターズ

キャリア支援事業

**VOYAGE**  
NEXUS

株式会社VOYAGE NEXUS

家事支援サービス「カジタク」の  
ネット販売事業

**ふるさと本舗**

株式会社ふるさと本舗

ふるさと納税サイト  
「ふるさと本舗」の運営

**ZENOSIS**

株式会社ゼノシス

通販化粧品「ViTAKT」の  
企画・販売

**VOYAGE**  
VENTURES

株式会社VOYAGE VENTURES

未上場インターネット関連  
ベンチャー企業への投資

## 持分法適用関連会社

**GPOT**

株式会社C-POT

出版社コンテンツを  
活用した事業開発

**株式会社 ドゥ・ハウス**  
HANA NETWORKING SOCIETY

株式会社ドゥ・ハウス

クチコミプロモーション及び  
リサーチのサービス提供

**Marketing Applications**

株式会社マーケティング  
アプリケーションズ

オンラインマーケティング  
リサーチ事業

**Media**  
Vague

株式会社  
メディア・ヴァーグ

「乗りものニュース」等の  
メディア運営

**VENTENY**  
EMPLOYEE HAPPINESS

VENTENY PTE. LTD.

新興国における従業員向け  
レンディングサービス事業

**SELVAS**  
M

SelvasM. Inc.

海外向け  
モバイルゲーム事業

**CoinOn**  
[コインオン]

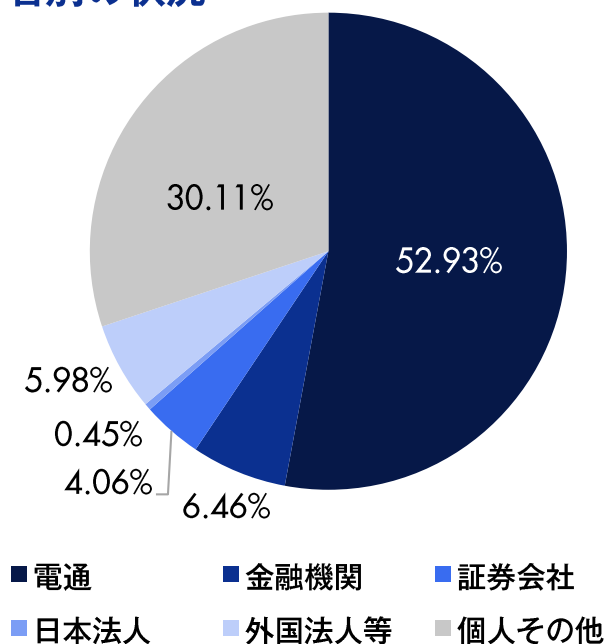
コインオン株式会社

仮想通貨レンディングサービス  
「CoinOn」の運営

## 株式数・株主数

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済み株式総数	25,396,052株
議決権を有する株主数	5,829名

## 所有者別の状況



## 大株主の状況

2019年3月末時点

順位	株主名	所有株式数	比率
1	株式会社電通	13,441,506	52.93%
2	宇佐美 進典	1,983,383	7.81%
3	CARTA HOLDINGS 社員持株会	451,989	1.78%
4	株式会社SBI証券	399,412	1.57%
5	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	382,900	1.51%
6	永岡 英則	361,524	1.42%
7	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	256,100	1.01%
8	平尾 丈	244,300	0.96%
9	楽天証券株式会社	215,800	0.85%
10	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口5)	201,600	0.79%

(単位：百万円)		2018年1～3月※1	2019年1～3月	前年同四半期比
売上高		5,271	6,159	+16.9%
売上総利益		4,517	5,371	+18.9%
販売管理費		3,476	4,032	+16.0%
営業利益		1,040	1,338	+28.6%
	営業外収益	36	55	+50.7%
	営業外費用	14	23	+61.2%
経常利益		1,062	1,369	+28.9%
	特別利益	5	0	-99.4%
	特別損失	30	55	+80.1%
税金等調整前当期純利益		1,036	1,314	+26.8%
親会社株主に帰属する当期純利益		664	764	+15.0%
EBITDA※2		1,266	1,626	+28.4%

※1 2018年1～3月は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※2 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

# 59 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年9月期※1 2018年9月末	2019年12月期 第2四半期 2019年3月末	前期末差額
流動資産	10,538	37,155	+26,617
うち現金及び預金	5,679	13,314	+7,634
固定資産	6,256	14,879	+8,623
総 資 産	16,794	52,035	+35,240
流動負債	7,158	27,134	+19,976
うちポイント引当金	2,837	473※2	-2,364
固定負債	858	2,022	+1,163
純 資 産	8,777	22,878	+14,101
負債及び純資産	16,794	52,035	+35,240
(参考) ネットキャッシュ	4,690	12,565	+7,874

※1 2018年9月期はVOYAGE GROUPの数値

※2 新収益認識基準の早期適用に伴い、従来「ポイント引当金」として計上していたVOYAGE MARKETING社のポイント預り金を「預り金」として計上

# 市場環境

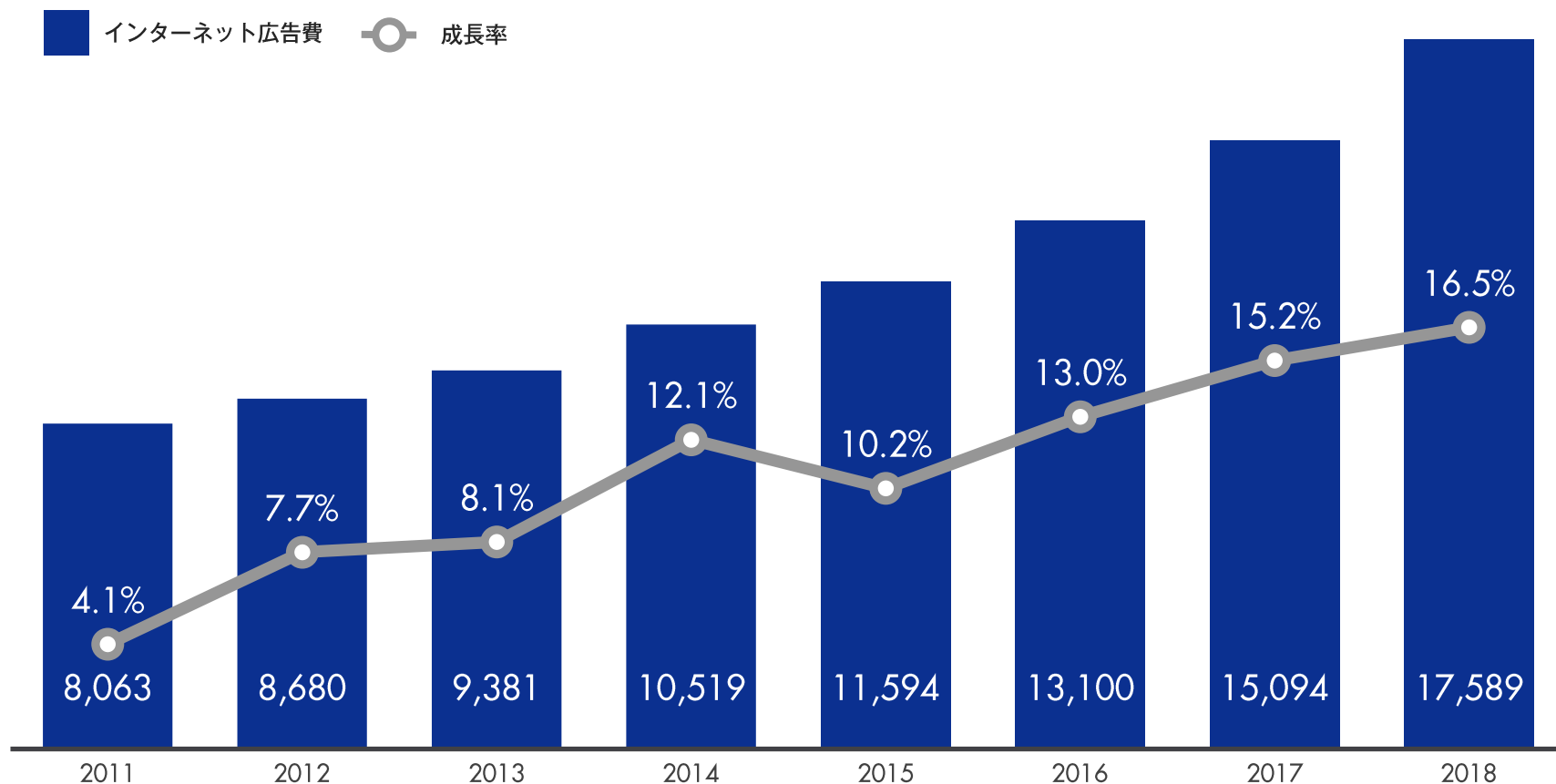




# 61 参考資料：国内インターネット広告費推移

国内インターネット広告市場は順調に拡大  
2018年は前年比16%増の1兆7,589億円に

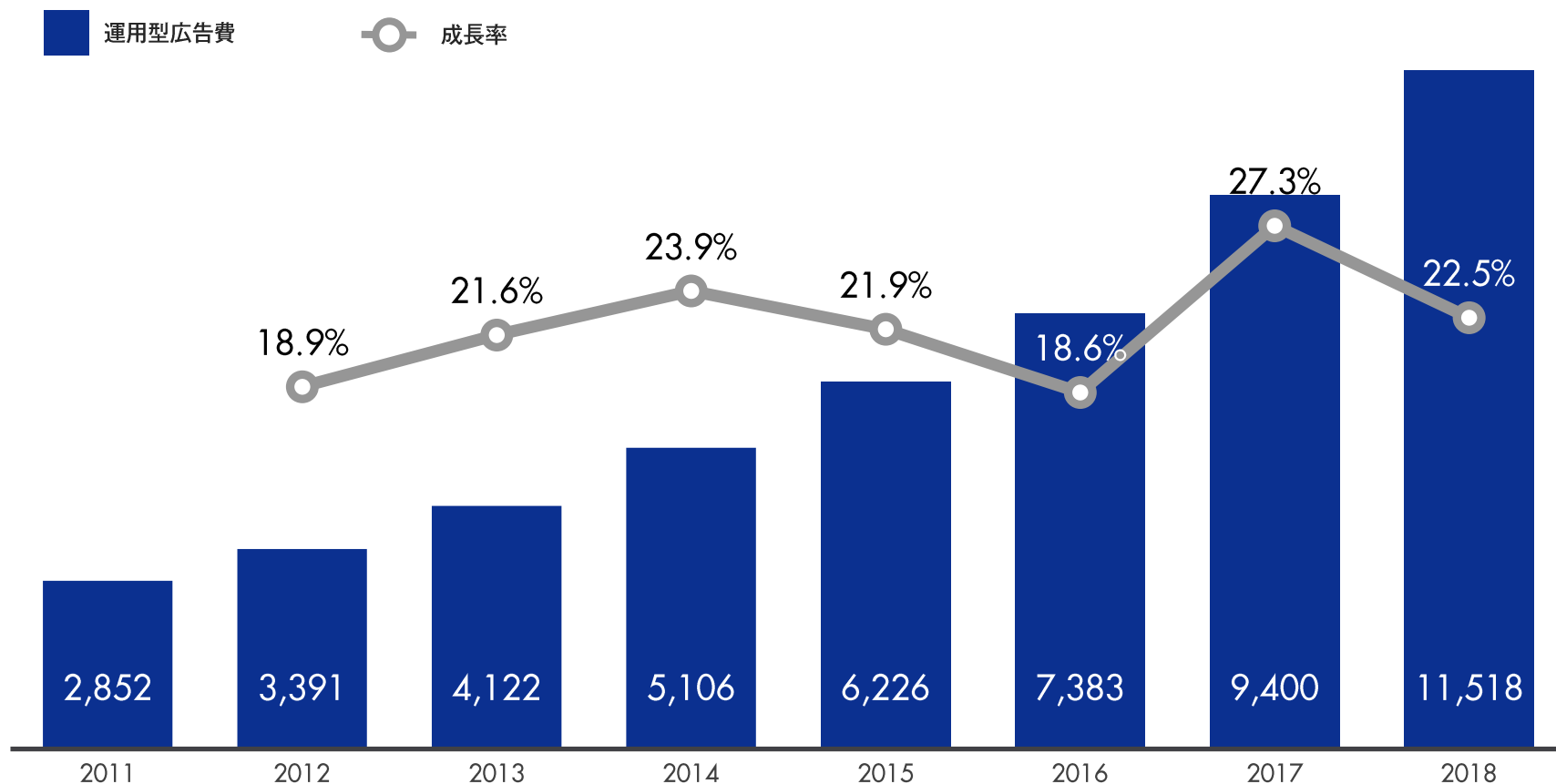
単位：億円



# 62 参考資料：運用型広告費推移

2018年の運用型広告費は前年比22.5%増  
初めて1兆円を超えた

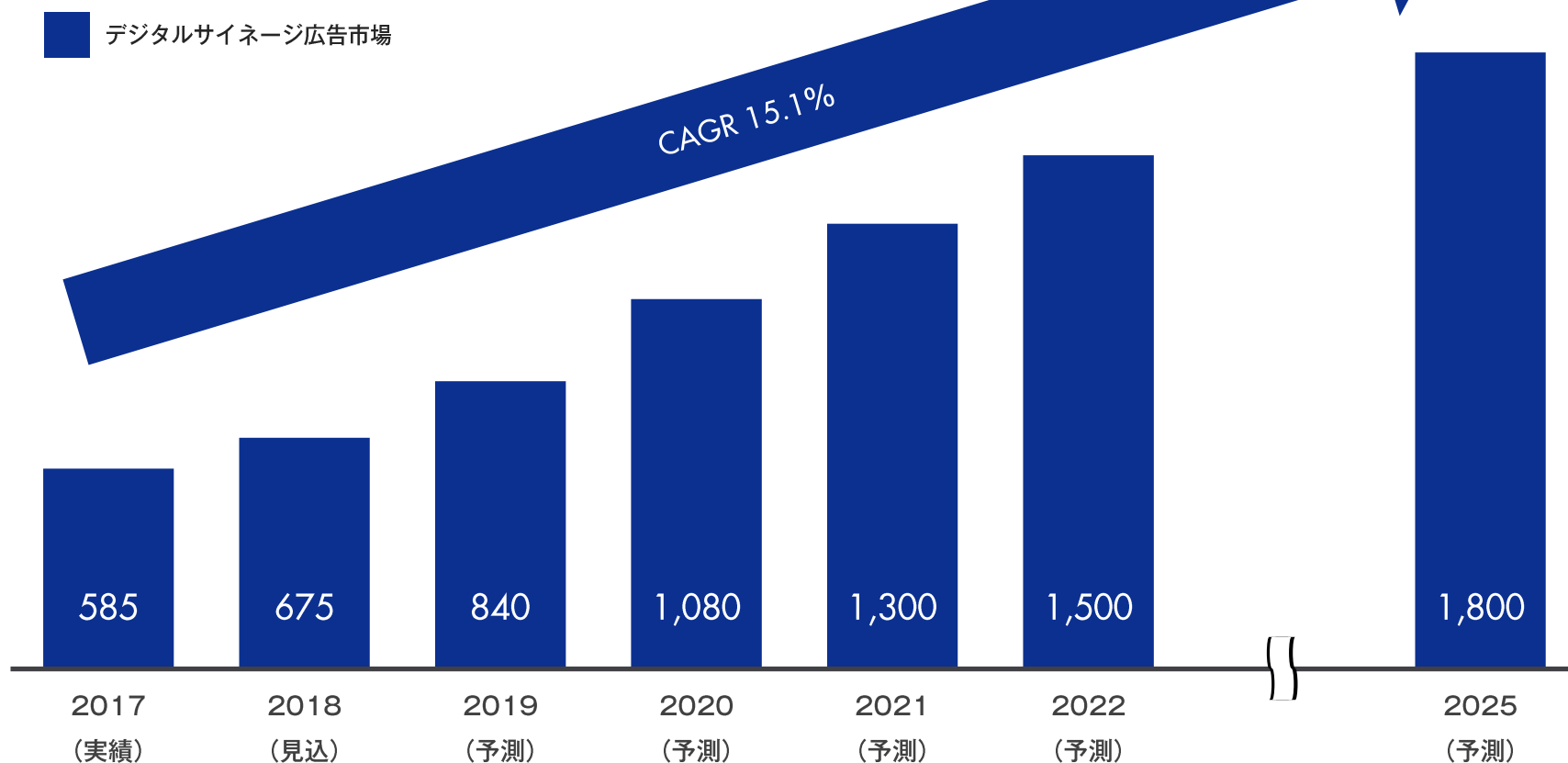
単位：億円



出所：株式会社電通「2018年 日本の広告費」より

## デジタルサイネージ広告市場は高い成長率が続く

単位：億円



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報、並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご承知おきください。